

甲賀市の姉妹都市

交流の歴史を紐解く

Since 2005



トラバースシティ市



デウィット市



利川市



マーシャル市

本冊子発刊によせて

甲賀市の姉妹都市交流は、合併前の土山町が1970年にミシガン州のトラバースシティ市と姉妹都市提携を結んだのに始まり、甲賀町が1984年にマーシャル市と、甲南町が1994年にデウィット市と、信楽町が1999年に韓国利川市と姉妹都市提携を結びました。2025年時点で、55年の交流の歴史を刻んできたこととなります。

当初、交流の旗を振った先人達の想いはいかなるものか、本冊子を読む人々に是非知っていただきたい思いでここに姉妹都市交流の歴史の記録を残すことにしました。本冊子では、個人の感想は記載していません。歴史的記述から当時の人々の想いを読み取っていただきたいと思います。

時は流れ、社会も変わり、人の考え方も変わっていきますが、人と人との間に築かれた信頼、友情、絆はいつまでも残ることでしょう。これまで、姉妹都市の市民交流を通して多くの人生の出会いがありました。その一つに、私のホストファミリーだったジョン・ベリー(John Berry)さんが話した不思議な出会いのエピソードを紹介します。

「ジョンさんの家の台所の壁には、終戦時、富士山を背景に撮った米国の戦艦と彼の写真が掛けてあった。ジョンさんは、少し早口で1984年にマーシャル市を訪問された中井寿夫氏との出会いのことを話された。太平洋戦争で、海軍で敵として戦った者同士が、このマーシャル市で感動の出会いをされたのだった。」(中島：マーシャル市訪問回想録より)



実は、ジョンさんは、終戦後もずっと日本人に対して好意的ではありませんでした。しかし、戦争で片腕を損傷した中井寿夫氏と出会って、戦争でのわだかまりは消え、二人の間に友情が生まれたのです。

半世紀にわたる姉妹都市交流を通して、多くの市民が相互理解を図り、お互いに顔の見える関係を築いてきたことはすばらしいことと思います。しかしながら、行政や協会が進める姉妹都市交流は、個人の学び、理解に留まらず、市民社会に貢献するものとして捉えなければなりません。異なった国の人々の考え方、生活様式、社会の在り方も様々で、共通の課題に対して解決方法も多様です。交流において、より広く私たちの生きる知恵を学ぶ合うことが出来ます。これまでの姉妹都市交流に参加した人々が、そこから得たものを他の人々に伝えることで、私たちの社会はより豊かなものとなるでしょう。

最後になりましたが、本冊子の編集に際し、資料提供していただいた甲賀市役所や市民の方々、編集協力していただいた方々に感謝申し上げます。

Think Globally Act Locally, Think Locally Act Globally

2026年1月 編集委員長 中島教芳

目次

I 姉妹都市交流のはじまり	1
1. 滋賀県とミシガン州の姉妹都市提携	
2. 姉妹州協定書の調印	
3. 米国ミシガン州 3 都市、大韓民国利川市との姉妹都市提携	
▪ 窓口:ミシガン・滋賀姉妹県州委員会 Michigan-Shiga Sister State Board	
▪ 窓口:利川文化院 이천문화원	
4. 甲賀市と海外都市との姉妹都市協定	
5. 協定書概要	
II 各姉妹都市の紹介	5
1. トラバースシティ市(City of Traverse City)	5
▪ 土山町トラバースシティ市の姉妹都市提携の経緯	
▪ 旧土山町当時の「友好の日」関連行事	
▪ トラバースシティ市と関係するもの	
▪ 土山町トラバースシティ市の姉妹都市交流の記録	
▪ 【第 1 期(1970 年～1986 年)】	
▪ 【第 2 期(1987 年～2004 年)】	
▪ 【第 3 期(2005 年～2010 年)】	
2. マーシャル市(City of Marshall)	14
▪ 甲賀町時代の海外交流の歴史	
▪ 姉妹都市提携までの経緯	
▪ 姉妹都市提携とその後の歩み	
3. デウィット市(City of DeWitt)・デウィットチャータータウンシップ (DeWitt Charter Township)	22
▪ 提携までの経緯	
▪ 姉妹都市提携	
▪ 甲南町とデウィット市の交流について	
▪ 合併後の交流	
▪ デウィットクラブの設立	
4. 利川(이천)市(이천시)	28
▪ 姉妹都市交流の経緯	
▪ 甲賀市と利川市とのこれまでの主要交流 《中学生交際交流》 《市民交流》	
III 甲賀市姉妹都市提携とその後の歩み	34
▪ 中学生国際交流事業	
▪ 市民交流事業(トラバースシティ市／マーシャル市／デウィット市)	
▪ 市民交流事業(利川市)	
IV 資料	43
▪ マーシャル市からいただいたもの	
V 甲賀ブランド	47
▪ マーシャル・甲賀抹茶アイスクリーム	

I 姉妹都市交流のはじまり

姉妹都市関係の歴史は、第二次世界大戦の傷跡が癒えぬ 1956 年、アイゼンハワー大統領が People to People Program の市民外交構想を提唱したことに始まります。現在、日本とアメリカ合衆国の間には約 460 の姉妹都市関係があり、カリフォルニア州だけでも約 110 の姉妹都市関係があります。

(出典: 在サンフランシスコ日本国総領事館ホームページ)

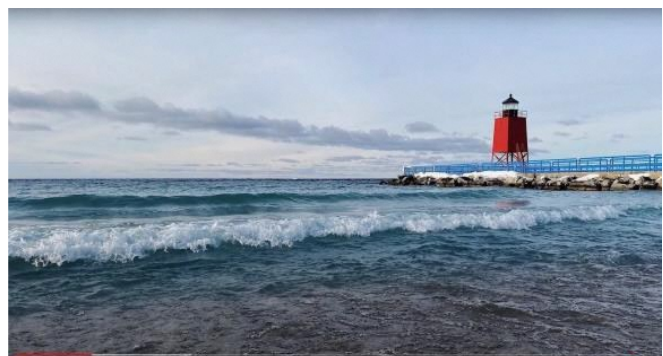
1. 滋賀県とミシガン州の姉妹都市提携

1967 年 4 月、米国内務省国立公園局次長テオドル・スエム氏が琵琶湖国立公園を視察するため来県した際、当時の野崎知事は、米国内に湖を持つ州との姉妹提携の斡旋を依頼しました。

1968 年 5 月、大橋滋賀県商工労働部長がミシガン州を訪問し、姉妹提携の打診をしたところ、9 月にミシガン州自然資源局長ラルフ・マクマラン博士が来県し、姉妹提携の締結について合意に達しました。姉妹提携の内容は、湖を有する県・州の特有を活かした自然環境の保全・保護に重点を置き、経済・生活文化を中心とした住民相互の友好親善を推進することにあります。(出典: 滋賀県ホームページ)



琵琶湖



ミシガン湖

2. 姉妹州協定書の調印

1968 年 11 月、野崎知事は北川滋賀県水政課長と共に渡米し、同年 14 日、州都ランシングでジョージ・ロムニー知事と姉妹提携を調印しました。



野崎欣一郎知事 ジョージ・ロムニー知事 (出典 滋賀県)

協定書概要

- 恒久的な友好関係の促進
- 各分野での交流
- 理解・協力
- 相互の繁栄と幸福、世界平和に貢献

交流で友好関係促進

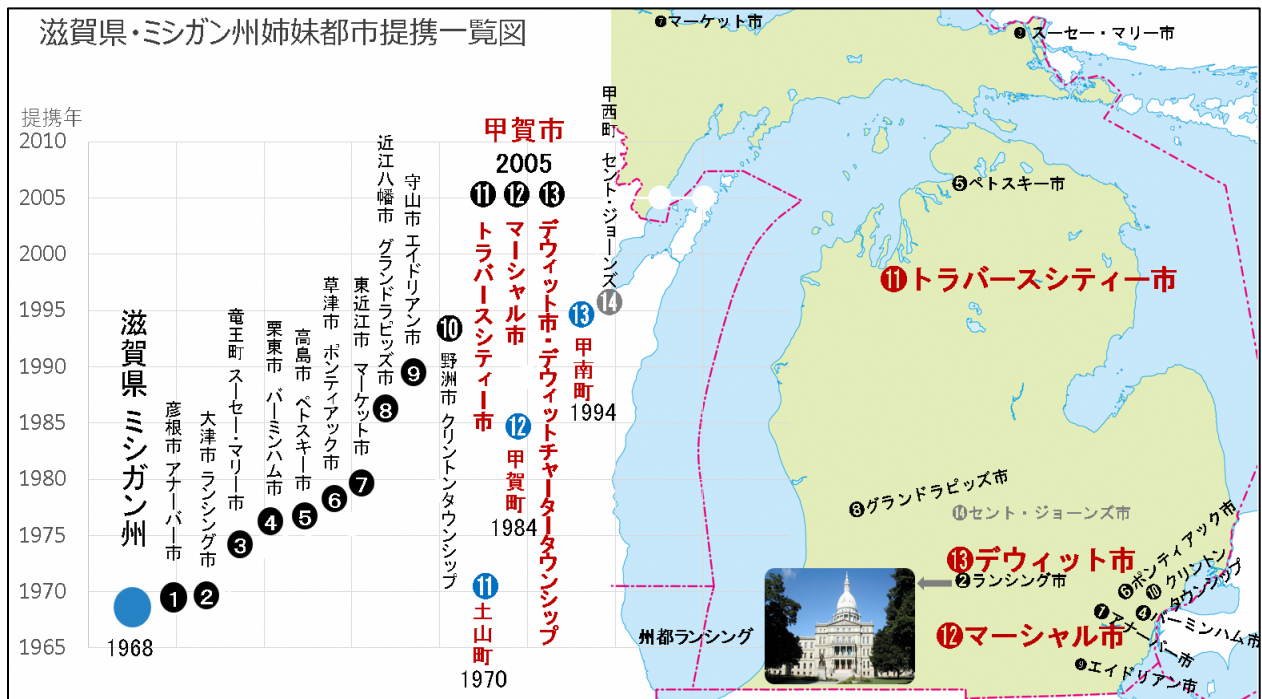
人物交流、教育交流、経済交流、湖保全協力理解、協力、相互の繁栄

3. 米国ミシガン州 3 都市、大韓民国利川市との姉妹都市提携

2005 年の 5 町合併以前は、滋賀県とミシガン州の姉妹州・県協定を元に、土山町とミシガン州トラバースシティ、甲南町とミシガン州デウィット市、甲賀町とミシガン州マーシャル市がそれぞれ姉妹都市提携を、信楽町と大韓民国利川市は、陶磁器を軸に姉妹都市提携を結び交流していた。

窓口：ミシガン・滋賀姉妹県州委員会 Michigan-Shiga Sister State Board

各姉妹都市、友好都市から選ばれた代表とボランティアから成る。両州の友好親善使節団の滞在プラン・ホームステイの手配・歓送迎会などの調整をおこなっている。現在、Traverse City Sister City (TCSC) 委員会、デウィット市には Sister City Community 委員会がある。マーシャル市は Marshall Sister City でボランティア委員がプログラム調整を行っている。中学生交流は、現地各中学校



窓口：利川文化院 이천문화원



陶芸が縁で、利川文化院と信楽町観光協会の交流をきっかけに、信楽町と利川市が 1999 年 10 月に姉妹都市提携を結んだ。利川市は、陶芸に加え秋の一大イベントである米文化祭りに見られるように、米の生産地でもあり、甲賀市と共通した文化・経済がある。利川市の姉妹都市交流については、利川文化院が窓口になっている。中学生交流は利川市

利川文化院は、利川の郷土文化歴史、地域文化を継承し発展させるための組織で、郷土史料の発掘及び保存事業、創造的な地方文化祭の開催、地域間文化コンテンツ交流事業、文化教育事業及び生活文化芸術活性化事業を展開している。1963 年に地方文化院振興法に基づき設立され、開院した。現事務所は、2019 年に移転した利川市中理洞行政福祉センターにある。



利川文化院

(出典: 韓国観光情報サイト VISITKOREA 利川文化院)

4. 甲賀市と海外都市との姉妹都市協定

2005年11月19日、甲賀市は、これまで旧町でそれぞれ行ってきた姉妹都市交流事業を受け継ぎ、新たに姉妹都市提携した。

アメリカ合衆国ミシガン州

- トラバースシティ市
- デウィット市
デウィットチャータータウンシップ
- マーシャル市

大韓民国

- 利川市



4 姉妹都市との協定書

5. 協定書概要

日本国滋賀県甲賀市と、〇〇市は、お互いに恒久的な友好関係を推進するため姉妹都市の締結をする。両市およびその市民は、文化、教育、芸術、経済などの交流を通して相互の繁栄と幸福、さらには世界のあらゆる人々が平和で友好的な関係を築くことをめざすものとする。



がっちり握手

—姉妹都市提携調印—

アメリカ合衆国ミシガン州
トラバースシティ市、マーシャル市
デウィット市・デウィット チャーター タウンシップ

大韓民国京畿道
利川市
(이천시)

トラバースシティ市、マーシャル市、デウィット市・デウィットチャータータウンシップ、利川市
甲賀市姉妹都市提携調印式



▲ 固い握手を交わす各姉妹都市代表

〔左から、ポール・オブナー市長、柳 勝慶市長、リック・ガラルディー スーパーバイザー、中嶋市長、リック・サボ副市長、デュエーン・コーギル市長〕

また中嶋市長は「今回の各都市との姉妹都市提携が、それぞれの民間大使である市民によって虹の架け橋として、友好の輪が一段と広がり、全土の甲賀市民が国際交流に理解を深めていく契機になると確信しています」とあいさつ。今後、市民相互の人的交流に加え、お互い、まちの特性を活かした人づくり、まちづくりに貢献し合う姉妹

調印式には、トラバースシティ市からリック・サボ副市長が、マイシヤル市からはデュエーン・コーギル市長が、デウィット市・デウィットチャータータウンシップからはポール・オブナー市長とリック・ガラルディー スーパーバイザーが、利川市からは柳勝慶市長が臨み、同行された皆さんや市関係者が見守る中、調印書への署名が行われました。

式典では、調印書への署名に続き、市旗の交換や記念品の交換が行われ、今後のさらなる交流を誓いました。

まちづくりの

活性化に期待

11月19日、アメリカ合衆国ミシガン州のトラバース市とマーシャル市、デウィット市・デウィットタウンチャーター、大韓民国京畿道利川市の4つのまちと姉妹都市提携を結びました。姉妹都市提携調印式は土山町のホテルで行われ、関係者ら約80人が出席しました。

調印後、中嶋市長と各都市代表は友好関係を深めていくことを約束し合い、固い握手を交わしました。

都市関係の構築が期待されます。

また当日は、アトラクションとして琴が演奏されると、姉妹都市関係者は日本楽器の音色に和んだ様子で記念すべきひとときを過ごされました。

姉妹都市提携 までの経緯

甲賀市施行前において、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町ではそれぞれ国際交流事業として姉妹都市提携を行ってきましたが、合併協議の中で、それぞれの姉妹都市関係は一旦白紙に戻し市制後に調整するという、確認がなされました。身近な生活のなかでもグローバル化が進む今日、市民皆さんの国際感覚に磨きをかけていただくことは大切なことであり、これまで旧町で温められてきた相手国市民との交流がしっかりと根付いていることや姉妹都市関係の復活を望む声が高まっていることを受け止め、調印に至ったものです。

II 各姉妹都市の紹介

1. トラバースシティ市(City of Traverse City)

<http://www.traversecitymi.gov/>



北緯45度線に近く、北海道の北くらいに位置し、ミシガン州の北部グランドトラバース湾に面した風光明媚な観光都市である。人口は約15,000人だが、避暑地でもあり、夏には人口は増える。アメリカ北中部でも屈指の観光地で、美しい街並み、湖上スポーツ、ゴルフ、スキー、ナショナル・チェリー祭りなどが多くの観光客を引きつけている。

観光の他には、さくらんぼの産地として有名で、全米で生産されるさくらんぼの75%がミシガン州で、またその約半分がトラバースシティ市で生産されている。さくらんぼからは様々な製品が作られているが、とりわけチェリー・ワインは逸品である。



トラバースシティの街並み



ダウンタウンのパークプレイスビルは古くて有名



姉妹都市記念植樹が行われた植物園



ブドウ、チェリー、ワイナリー



スリーピングベア砂丘国立湖岸公園

■ 土山町トラバースシティ市の姉妹都市提携の経緯

1970年(昭和45年)5月20日にアメリカ合衆国ミシガン州トラバースシティ市と土山町が、姉妹都市提携の協定を結んだ。その後20年経った時に、これからも友好関係を密接にし、更に交流や親善を深め、相互の繁栄をはかることを目的に毎年5月20日を「友好の日」にすることが決められた。この日を「トラバース市友好の日」とも言う。トラバースシティ市では「ツチャマデー」と呼んでいる。

■ 旧土山町当時の「友好の日」関連行事

- ・役場前にシティー旗、町旗の掲揚
- ・開発センター(旧教育長室)にパネル等展示(5月15日～31日)
- ・学校給食特別メニュー(5月20日) ・有線放送

- **トラバースシティ市と関係するもの**

- ・姉妹都市提携記念碑

町民体育館前、開発センター前(あいの土山マラソンスタート地点)

- ・トラバースロード(町道北土山線)

サクランボ並木、碑



(市道脇の柵に施されたペインティング)

(橋の街灯もさくらんぼ)

- ・米松育成(トラバースシティ市から贈られた種子の育成)

鮎河西野地先にて育成

- ・トラバースシティ市からの贈り物、使節団の来町時や派遣時の記念写真、パネル等は開発センター内に保管

- **土山町・トラバースシティ市の姉妹都市交流の記録**

- 【第1期(1970年～1986年)】

- 1970(昭和45)年

5月14日～29日土山町長村上良一氏及び町議会議長松岡繁雄氏は他の市町長と共にミシガン州を訪問。

5月20日、トラバースシティ議会(City Commission)は土山町と姉妹都市提携協定を結ぶ。トラバースシティ市では日本人医師米須誠一・光子(ドクター・セイイチ・テルコ・コムス)氏夫妻が熱心に姉妹都市提携促進に努力され、通訳等の世話をされた。

その後、土山からの使節団は長年コムス夫妻のお世話になっており、コムス夫妻もその後個人的に土山を訪問されている。

7月上旬 第1回滋賀県海外青年派遣団20名がミシガン州を訪問。土山からは2名が派遣された。町長のメッセージと贈り物を持って公式にトラバースシティ市を訪問。市では歓迎会に招待されるなど公式訪問団として丁重に歓迎された。

- 1970(昭和45)年

8月7日 ミシガン州親善使節団として来県したトラバースシティ市のウィリアム・リンチ市長以下9名が土山を

訪問。姉妹都市提携記念碑除幕式、記念植樹(さくらんぼ)記念ポール建立などが行われた。

1971(昭和46)年

7月3日～19日 アメリカ合衆国、国際体験協会バーバラ・ダークス団長以下47名が、かもしか荘において、日本語の研修を行い、地元民と交換会を行う。鮎河小学校のプールの落成式に参加。土山中学校で模範リーディングを披露。

8月14日 世界ジャンボリー参加のフランク・ネムツシツク特使らが土山を訪問し、納涼盆踊り大会に参加。

9月上旬 第2回滋賀県青年海外派遣団がトラバースシティ市を訪問。トラバースシティ中学校を訪問し、土山中学校との姉妹校を結ぶことを提案



信楽焼でできた記念碑
(土山地域市民センター前)

1972(昭和47)年

4月8日 土山中学校トラバースシティ中学校との姉妹校関係が締結。文通開始。

7月3日 国際生活体験生33名土山訪問。「かもしか荘」において日本語の研修。町内青少年と交流

8月3日 第1回ミシガン州青年親善使節団ラッセル・マッキー団長以下20名来県。土山を親善訪問、町内見学、野点茶会等を楽しむ。

9月10日～16日 第3回滋賀県青年親善使節団21名がミシガン州各姉妹都市を訪問。土山町からも参加

10月2日 国際生活体験総会で来日のディック・ハズウェル夫妻、市長特使として来町、婦人会代表と座談会を行った。



かもしか荘での土山町内青少年との交流

1973(昭和48)年

7月31日～8月7日 第2回ミシガン州青年使節団ジャック・バンダイク氏ら7名来県。土山にも親善訪問。トラバースシティ市の市民AVエミ・ウイリアム夫妻来町

9月4日～20日 第4回滋賀県青年使節団20名がミシガン州の各姉妹都市を訪問。土山からもトラバースシティ市訪問。レニー市長主催の昼食会等で歓迎され、一般家庭に滞在し交流を深める。

1974(昭和49)年

8月8日 クリフォード・グローバー氏が2人の子どもと共に土山町訪問。

9月9日～18日 第5回滋賀県青年海外使節団20名がミシガン州各姉妹都市を訪問。土山からも参加。

1975(昭和60)年

5月28日 ミシガン州知事の代理として、ミシガン州庁自然保護局次長サミエル・ミルシュタイン夫妻は栗東町での全国植樹祭に出席、土山にも来町

1976(昭和51)年

7月31日～8月16日 第1回滋賀県親善使節団165名ミシガン州を訪問。土山からもトラバースシティ市訪問。家庭に滞在し友好を深めた。

1977(昭和52)年

4月1日～4日 トラバースシティ市からダニエル・コツエワ氏を団長とする14名の友好使節団が県と土山町訪問。テルコ・コメス氏がアメリカへ帰国後、市民に呼びかけて組織した訪問団である。町内諸施設を視察、土山町長宅で食事、町内で一般家庭に滞在し友好を深める。ウェブ夫妻が田村神社に宿泊。1990年の親善使節団がトラバースシティ市で13年ぶりの感激の再会をする。

7月30日～8月15日 ミシガン州親善使節団としてスーツケース・シアター音楽団26名と一般団員43名

が来県、各地で演奏。内4名が来町。一般家庭に滞在し日本の生活について理解を深めた。

7月27日～8月12日 第2回滋賀県親善使節団167名がミシガン州を訪問。土山からも参加。

1979(昭和54)年

8月9日～24日 ミシガン州親善使節団バンダイク氏以下27名が来県。土山へはイブシランティー出身のK・アンダーソン氏、D・アンダーソンの2名が来町

11月6日 ミシガン州教育者親善研修使節団17名が来県。各地の学校を視察。土山では大野小学校等教育施設訪問。

12月19日 トラバースシティ市出身で東京の貿易研修センター補助講師ロバート・レイダー氏が土山を訪問、町内各地を視察

1980(昭和56)年

8月7日～22日 第3回滋賀県親善使節団147名がミシガン州を訪問。土山から4名参加

1982(昭和57)年

7月22日～8月6日 第4回滋賀県親善使節団113名がミシガン州を訪問。土山から2名参加

1983(昭和58)年

7月 ミシガン州親善使節団42名が滋賀県訪問。土山へはフォーレアの酪農家ノーバート・ポール夫妻が訪問。町内各施設見学。滞在。夫妻の令嬢は1982(昭和57)年に始まったびわこ汽船の観光船ミシガン船に研修生として乗っていた大学生

1984(昭和59)年

8月16日～28日 第5回滋賀県親善使節団234名ミシガン州を訪問。土山から2名参加

1985(昭和60)年

8月1日～6日 第5回ミシガン州親善使節団63名が来県。デトー郡教育長フリデリック・ゲーブル夫妻が土山訪問。町内各施設視察。町内小中学校校長会と懇談。一般家庭に滞在。夫妻のご子息はびわこ汽船ミシガン船に研修生として乗っていた大学生

11月4日

大津で研修中のランシング・コミュニティー大学生、町制30周年記念行事に参加

1986(昭和61)年

7月25日～8月9日 第6回滋賀県親善使節団144名がミシガン州訪問。土山から2名参加

【第2期(1987年～2004年)】

1987(昭和62)年

ミシガン州と滋賀県の友好親善のミシガン側の推進者の一人であるミシガン州立大学アジア研究所のリリアン・クマタ先生は、滋賀県訪問の機会に滋賀県の友好推進者の一人である滋賀県国際友好親善協会の今居利満参事と共に土山町を訪問し、実質的にはしばらく途絶えていたトラバースシティ市との友好関係再開を促された。



リリアン・クマタ

時を同じくして、ミシガン州側では、州教育長がトラバースシティ市にあるノース・ウエスタン・ミシガン大学(NWC)のローニー・カー副学長に土山との友好再開を促した。カー氏は市のシティーマネージャーのポール・プレストン氏に相談し大学と市で協力して土山との交流を再開。大学側からドーン・パウアーさん、市側からデブラ・カーティスさんを担当者に決定

一方ミシガン州立大学で語学研修中の松山さん、滋賀県使節団に合流しトラバースシティ市を訪問。議会においてスピーチを行い土山町との友好親善の意を伝えた。

1988(昭和 63)年

7月25日～8月8日 第7回滋賀県親善使節団 157名がミシガン州を訪問。
土山からは2名が参加。トラバースシティ市を訪問。家庭に滞在し親善を深めた。



ミシガン州立大学

1989(平成 1)年

7月31日～8月9日 ミシガン州親善使節団 65名が県を訪問。その内8名が土山を訪問し家庭に滞在。

1990(平成 2)年

7月17日～22日 この年に新しく始まった滋賀県・ミシガン州高校生の交換制度で来県したアマダ・エワルドさんは町内の家庭に滞在、水口東高校へ通った。

8月2日～8日 滋賀県親善使節団に土山から13名参加しトラバースシティ市を訪問。家庭に滞在し友好親善を深めた。市議会において5月20日を友好親善の日とすることを議会で提案し議決された。

8月22日 使節団員の宇野氏、「土山学」の講座で、トラバースシティ市訪問の報告。

9月11日 土山町議会において馬場氏トラバースシティ市訪問の報告。議会は5月20日を「友好の日」とすることを決議。

10月27日 土山町の文化祭でトラバースシティ市に関する展示。

12月25日 1990年の土山町からの友好親善使節団によって報告書「友好のかけ橋」が発行された。

1991(平成 3)年

3月23日～24日 トラバースシティ市のジーン・マーフィー氏は横須賀で海洋工学実習中週末を利用し土山を訪問。トラバースシティ市長の親書を持って土山町長を表敬訪問。

5月19日 民間団体「土山国際親善交流の会」設立総会開催。ジェームズ・ヘイゲン氏、日本語で講演「国際化に向けて」(トラバースシティ市出身、近畿大学講師)、県国際友好親善協会今居参事が祝辞。土山中学校ALT(カナダ)をはじめ、多くの欧米人やブラジル人が参加。

5月20日 第1回トラバースシティ市の記念行事、両市の旗が役場前に掲揚。トラバースロードの記念碑除幕式、学校給食でトラバース・メニューと称する特別給食。

8月3日～8日 トラバースシティ市友好親善使節団3名土山町訪問、ホームステイ。ゲイル・ボッシュさん(団長)他2名。

9月23日 トラバースシティ市セントラル小学校ミルロス校長より山内小学校長に友好の手紙(前記使節団)が届く。

1992(平成 4)年

2月8日・9日 土山町文化祭「トラバースシティ市展」開催

4月7日 ジーン・マーフィー氏紹介 トラバースシティ市のシルバーレイク小学校3年担任のビッキー・ヘイ先生から山内小学校長宛に手紙と子どもたちの絵画作品が送られてきた。それ以降、両校の手紙、児童の作品、ビデオ、贈り物など相互交換が7回行われた。1993年2月現在山内小学校では保護者も加わり交流。

5月20日 第2回トラバースシティ・デーの記念行事 役場前で式典。両市の旗の掲揚、役場前で式典、トラバースシティ市展、学校給食「トラバース特別メニュー」

5月24日 トラバースシティ市出身のジェームズ・ヘイゲン氏、土山国際親善交流の会第2回総会に出席。ミシガン州出身甲南町の国際交流員が「私の見たニッポン」講演。土山中学校ALTはじめ多くが参加。

7月4日～5日 前記ジーン・マーフィー氏再度来町、滞在。

7月28日～8月9日 1992年度滋賀県ミシガン州行友好親善使節団に土山から松山町長はじめ8名参加、トラバースシティ市訪問。

11月24日～25日 土山町文化祭 トラバースシティ市展



1993(平成5)年

1月9日～10日 ジーン・マーフィー氏三度目の来町、滞在。市長の親書。

4月1日 山内小学校長の退職に伴い、後任として新校長着任。シルバーレイク小学校に挨拶状を送る。以降3回相互に手紙や児童の作品を交換。

5月20日 第3回トラバースシティ・デー記念行事

5月23日 「土山国際親善交流の会」(以下「交流の会」)第3回総会。ミシガン州出身水口高校ALT講演。

7月4日～11日 ナショナル・チェリー・フェスティバル。

8月19日 「交流の会」がタイム・デ・ホーク氏など近隣中学校・高校のALTを招いて歓迎会開催。約35名参加。

10月30日～31日 「交流の会」が土山町文化祭「トラバースシティ市展」「トラバースシティ市特別展示即売会」「シルバーレイク小学校展」を開催。

11月18日 滋賀県ミシガン州姉妹都市提携25周年を迎え、彦根にて「姉妹都市国際会議」が開催される。トラバースシティ市のドーン・パウアーさん参加。土山町に招待。

12月23日 「交流の会」「年忘れ交流パーティー」開催。5名のアメリカ人、5名のブラジル人等約30名参加。

1994(平成6)年

5月10日 シルバーレイク小学校リンセル校長から山内小学校長へ学校要覧、親書。

5月20日 第4回トラバースシティ・デー

5月22日 「交流の会」第4回総会 記念行事 カレン・ミコスキーさん(トラバースシティ市出身JCMU職員)など10人を含め80人参加。

6月15日 山内小学校長 シルバーレイク小学校へ鯉のぼり、児童作品、親書贈る。

7月28日～8月10日 1994年度滋賀県ミシガン友好親善使節団、土山町から8人、トラバースシティ市訪問。

10月29日～30日 「交流の会」土山文化祭に参加。「トラバースシティ展」「トラバースシティ市特産品展示即売会」「シルバーレイク小学校展」

12月1日 「交流の会」ウインターパーティー開催。7カ国約40名参加

1995(平成7)年

5月20日 トラバースシティ・デー式典

5月28日 「交流の会」第5回総会 約90名参加。

10月7日～11日 土山町制40周年記念行事 トラバースシティ市ドーン・パウアーさんとデブラ・カーティスさん招待。交流の功労者として感謝状贈呈。

10月26日～27日 「交流の会」町の文化祭に参加。

12月23日 「交流の会」年忘れ交流パーティー 彦根のミシガン州立大学連合学生4名含む約30名参加。

1996(平成8)年

5月19日 「交流の会」第6回総会 約50名参加。

5月20日 トラバースシティ・デー式典開催。

7月24日～30日 1996年度ミシガン州友好親善使節団 土山町から7名トラバースシティ市訪問。

8月30日 報告会 21名参加。

10月26日「交流会」土山文化祭に参加

12月20日「交流会」年忘れ交流パーティー開催。シルバーレイク小学校と山内小学校の交流は毎年続き、児童の作品交換

1997(平成9)年

5月18日「交流会」第7回総会記念行事 約80名参加

8月2日～7日 トラバースシティ市友好親善使節団3名土山町訪問。ブラッド・ショーブ氏(団長)、他2名。町当局と「交流会」歓迎パーティー開催

10月26日～27日「交流会」土山町の文化祭に参加。

12月13日「交流会」年忘れ交流パーティー開催



1998(平成10)年

5月20日 トラバースシティ市記念式典

5月24日「交流会」第8回総会及び記念行事 約50名参加

8月24日～29日 1998年度滋賀県ミシガン州友好使節団、土山町から6名参加。滋賀県・ミシガン州姉妹都市30周年を迎える。

9月11日 報告会

11月7日～8日「交流会」町の文化祭でトラバースシティ市展

12月12日「交流会」年忘れ交流パーティー



1999(平成11)年

5月16日「交流会」第9回総会及び記念行事 約60名参加 講演

5月20日 トラバースシティ市・デー記念行事 土山町都市提携協議会 開催

7月6日～11日「交流会」事務局次長個人的にトラバースシティ市訪問、メアリー・パーカーさん宅にホームステイ。この年の使節団が派遣されない事情を説明。

8月 この年はトラバースシティ市より使節団受け入れの年だが、来られなかった。

8月30日「交流会」がトルコの地震に対して支援募金 会員33名から6,200円、会費から10,000円を補充募金

10月30日～31日「交流会」町文化祭に参加。台湾の大地震支援の募金

10月30日 97年使節団として来町したブラッド・ショーブ氏母親と共に私的に来町。「交流会」歓迎会

12月17日「交流会」年忘れ交流パーティー 在住外国人4カ国7人を招待。

2000(平成12)年

5月20日 トラバースシティ・デーの記念行事

5月21日「交流会」第10回記念総会及び記念行事に約70名参加。講演(辻野 功氏:京都造形芸術大学教授)と外国人ゲスト招いて座談会。10周年記念として水口、甲賀、甲南の国際交流団体を招いてパネルディスカッション

7月26日～8月6日 2000年第13回滋賀県ミシガン州友好親善使節団に土山町から5名参加

10月28日～29日「交流会」土山町文化祭に参加

12月16日「交流会」在住外国人4カ国8人を招き、交流クリスマスパーティー開催

2001(平成13)年

1月27日「交流会」世界の料理教室(ジャマイカ、チベット)実施

5月20日 トラバースシティ・デー記念行事。「交流会」第11回総会並びに記念行事。約60人参加。講演(遠藤京子氏:ヒマラヤ・クリーンクラブ代表)と外国人ゲスト座談会

8月2日～8日 第13回ミシガン州親善使節団滋賀県訪問 4名土山町へ

11月10日～11日 「交流の会」土山町文化祭、トラバースシティ市使節団の記録写真展

12月8日 「交流の会」在住外国人3カ国6人を招いてクリスマス・パーティー

2002(平成14)年

5月19日 「交流の会」第12回総会及び記念行事約100人参加 韓国舞踏団ペ・リア・ダンススクールの舞踊団「アラン」グループ別講座(韓国語、英語)座談会

5月25日 交流担当者のドーン・パウアーさんから「今年は州、市の予算がひっ迫して援助が得られない。大統領選挙、交流にあたる人材の不足等で使節団を受け入れられない旨連絡。

7月28日～8月1日 4名がトラバースへ

9月12日 「交流の会」アフガニスタン難民支援募金

12月7日「交流の会」在日外国人3カ国7人を招きクリスマスパーティー開催

2003(平成15)年

3月31日 「交流の会」解散

7月15日 「交流の会」解散後「土山国際交流クラブ」結成。数年後さらにトラバースOB会に(トラバースシティ市を訪問した人で構成)

8月5日～10日 第14回ミシガン州親善使節団滋賀県訪問 3名訪問 副市長アン・ロジャーズさん マイク・ベイリー、パム・ベイリー夫妻

10月10日 トラバースシティ市のアン・ロジャーズさんから世界平和を記念してピースポールが土山町に贈られ、トラバースロードの姉妹都市記念碑の横に建立。



トラバースロード記念碑前で記念撮影

12月5日 「交流クラブ」事務局 町村合併について説明、行政単位としての土山町が2004年9月末をもってなくなることを知らせた。

12月14日 「交流クラブ」主催で、在留外国人を招いてクリスマスパーティー開催

2004(平成16)年

1月7日 トラバースシティ市クリフ・キミ・ダーガー夫妻個人的に土山町訪問。2週間滞在。役場へ表敬訪問。

2月20日 「交流クラブ」有志「土山ESS」第1回会合 外国人ゲスト 英語研修

3月4日 町の合併に伴い国際交流協会5町協議会

3月12日 トラバースシティ市議会、土山との姉妹都市に関する決議再確認。5月20日の「ツチヤマデー」に次の行事を行うことを決議

1. 学校で子どもたちに伝統的な日本食提供
2. 小学校ではこの週に学校図書館学習時間に日本の童話の読み聞かせ
3. 土山の町旗、朝7時30分市役所に掲げる
4. 歴史博物館に市長への贈り物展示
5. 過去のホストファミリー昼食会

5月20日 トラバースシティ・デーの記念行事 両市市旗掲揚 学校給食。「都市提携協議会」開催

6月25日 5町国際交流団体の代表者会議 土山から参加。合併後は国際交流協会も合併する方向で協議

7月23日～31日 2004年第15回滋賀県ミシガン州友好親善使節団土山から5名参加。合併後も土山との交流を続ける旨合意

9月30日 この日をもって行政単位としての土山町歴史を閉じる。

10月1日 土山、甲南、甲賀、信楽、水口5町合併 甲賀市誕生



オールドミッション灯台

【第3期(2005年～2010年)】

2005(平成17)年

6月26日 甲賀市国際交流協会設立総会 会長他 市長への姉妹都市提携再調印の要望

7月15日～20日 第15回ミシガン州友好親善使節団滋賀県訪問。甲賀市へ16名、内土山へは次の3名
ゲイリー・アーボー氏、マイク・パム・ベイリー夫妻

10月2日～7日 姉妹都市提携調印式への参加要請、中学生交流提案。甲賀市助役、教育長、生活市民課長、国際交流協会副会長、国際交流員と共にミシガン州旧姉妹3都市訪問、改めて姉妹都市提携を結ぶ用意がある旨伝える。

11月19日 姉妹都市提携調印式 ミシガン州トラバースシティ市、マーシャル市、デウィット市、韓国イチョン市の幹部を招待 ダイヤモンド滋賀でトラバースシティ市副市長のリック・セイボー氏、シティーマネージャーのリチャード・ルイス氏、総務部長級のデブラ・カーティス氏、民間のマイク・パム、ベイリー夫妻の5名

11月20日 施行1周年記念式典 トラバースシティ市から5名参加

2006(平成18)年

2月4日～12日 甲賀市から10名の中学生トラバースシティ市へ派遣

7月21日～29日 第16回滋賀県ミシガン州友好親善使節団
4名、土山町訪問

10月1日～6日 甲賀市長、甲賀市議会議員、甲賀市秘書課、通訳(国際交流員)と共にミシガン州3市表敬訪問

11月3日～10日 トラバースシティ市2つの中学校から9人中
中学生甲賀市訪問ホームステイ。引率者トラバースシティ市西、東中学校3名先生方、マイク・パム、ベイリー夫妻。
「トラバースOB会」引率5名懇親会(於ダイヤモンド滋賀)



トラバースシティ市の中学生を歓迎

2007(平成19)年

7月26日～31日 第16回ミシガン州親善使節団来県、内17名甲賀市に、土山へは3名、マイク・パム、ベイリー夫妻、サラ・ヘイ氏

9月12日～21日 甲賀市から10名トラバースシティ市へ土山から4名

11月2日～9日 マーシャル中学校から10名訪問 土山では1名

2008(平成20)年

8月19日～27日 第17回滋賀県友好親善使節団土山町から2名参加 滋賀県ミシガン州姉妹都市提携40周年。州都ランシングで40周年記念式典

2009(平成21)年

10月5日～9日 トラバースシティ市ダン・クールホーン氏 土山訪問

10月30日～11月4日 7名市から訪問が予定されていたが新型インフルエンザ流行の影響で中止

2010(平成22)年

1月8日～16日 甲賀市から10名の中学生トラバースシティ市派遣 土山から5名。(以上「友好のかけ橋」土山・トラバースシティ姉妹都市交流40年の足跡より)

中学生相互派遣事業 2005 年より 2018 年までに延べ相互に 75 名参加。その後、3 都市の派遣の日が違って
いたが同時に派遣

2019 年はこちらからの派遣の後、新型コロナウイルス感染症拡大のため受入れが中止

2020 年、2021 年、2022 年もコロナウイルス感染症拡大のため中止。オンラインでの交流一度だけ実施

※参考文献「友好のかけ橋」

2. マーシャル市(City of Marshall)

<http://www.cityofmarshall.com/>



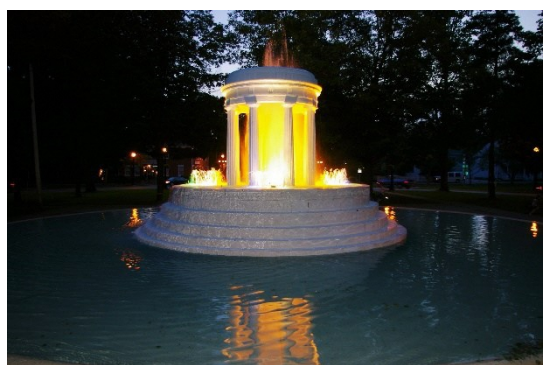
壁画家 Kimber Thomson さん作

ミシガン州のほぼ中央部に位置し、古くから東西南北に走る交通の要所に位置しており、現在の高速道路 94 号と 96 号がクロスして、デトロイトからミシガン湖に抜ける道
の中間にあり、ミシガン州の州都ランシング市の南に隣接する人口約 7,000 人の町



その昔、ミシガン州の州都を決める時にマーシャル市が今のランシング市に僅少差で敗れたと伝えられている。市内には 1800 年代の歴史的な建物も数多く残る美しい住宅地としても知られ、これら
を巡るツアーが行われている森に囲まれた美しいまちで、夏には蛍が群舞し自然環境に恵まれたまちである。

また、古いまちだけにアンティーク・オークションやガーデンツアーなど1年を通じて10を超える催し物があり
多くの観光客で賑わっている。



Brooks Memorial Fountain

町の中心部にある町のシンボルであるブルックス記念噴水公園にある噴水は 1930 年にハロルドブルックスによって建てられ、
フランスのベルサイユにある愛の神殿をモデルに造られている。

ブルックス記念噴水は、結婚式の背景として機能することが多く、夜に噴水を照らす色付きのライトが特徴。公園にはいくつかのベンチがあり、晴れた日にはリラックスできるスポット
なっていて、姉妹都市使節団の訪問もこの場所での記念撮影のスポットとなっている。

■ 甲賀町時代の海外交流の歴史

「国際交流の時代」と打ち出した政府主導による国際交流の促進の(1980 年代後半～)流れに先出して長崎市が姉妹都市提携を結び(1955 年)以降、各地での提携が動き出した。滋賀県においても、1968(昭 43)年 11
月に滋賀県とミシガン州の間で姉妹提携が結ばれた以降、甲賀町内でも経済団体や青年海外交流、教員英語
研修等々参加する町民、或は町内企業への視察団の受け入れや企業内技術者の着任など国際化の動きは急
速に進展してきた。その流れを受け、町では 21 世紀の甲賀を考える、国際交流はどうあるべきかの検討が行わ
れ、1984 年 8 月 20 日 旧甲賀町と姉妹都市提携が結ばれ、大きな流れが始まった。

1999 年からは甲賀中学校とマーシャル中学校が相互交流事業もスタートした。その後、1984 年に旧甲賀町と
姉妹都市提携が交わされ、相互交流を進める中、友情と信頼を深めてこられたが、2004 年の市町村合併に伴

い、旧町で交わされた提携が白紙とされた。

しかし、市民レベルでの交流が活発になり、今後交流を円滑に進めるためには、姉妹都市提携がなくてはならないものであるとの双方市民の厚い要望により、2005年11月19日甲賀市において、マーシャル市長と甲賀市長により姉妹都市提携協定書に調印。

■ 姉妹都市提携までの経緯

1968(昭43)年11月に滋賀県とミシガン州の間で姉妹提携が結ばれた後、甲賀町では町民の多くが国際交流の場に出掛け、或は海外からの訪問団を受入れて国際交流の波が急速に高まりはじめた足跡を甲賀町国際友好親善協会の記録から辿ってみる。

1970(昭45)年 第1回滋賀県青年海外派遣団(滋賀県青年の船)甲賀町から1名が参加。

1972(昭47)年9月 第3回青年海外派遣団にも甲賀町青年団から1名が参加。

1973(昭48)年9月 第4回青年海外派遣団にも甲賀町青年団から1名が参加

1976(昭51)年7月 第1回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(164名)甲賀町参加なし

1977(昭52)年9月 滋賀県教職員海外派遣団として甲賀町から1名が参加

1978(昭53)年4月 滋賀県「日中友好の翼」訪中団(132名)として甲賀町から5名が参加

1978(昭53)年7月 第2回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(165名) 甲賀町から3名が参加

1980(昭55)年8月 西ドイツスポーツ少年団28名甲賀町を訪問 歓迎交流を行う

1980(昭55)年8月 第3回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(147名) 甲賀町から3名が参加

1981(昭56)年7月 滋賀県はブラジル リオ・グランデ・ド・スール州へ友好親善訪問団を派遣。甲賀町から農業後継者1名を派遣

1982(昭57)年2月 中国薬業視察団が来町

1982(昭57)年6月 甲賀ライオンズクラブと台南市ライオンズクラブが姉妹クラブを結ぶ。甲賀のメンバー25名が台南市を訪問

1982(昭57)年8月 第4回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣甲賀町から2名参加

1982(昭57)年9月 中国薬業視察団が来町

1982(昭57)年10月 中国薬業視察団が来町

1982(昭57)年10月 台南市ライオンズクラブ19名が来町甲賀ライオンズと交流を深める

1983(昭58)年2月 中国湖南省との友好提携締結の先遣団が来町

1983(昭58)年7月 台南市ライオンズクラブより交換学生4名が来町

1983(昭58)年7月 台南市ライオンズクラブ22名が来町 甲賀ライオンズと交流を深める。また、甲賀町議会議員団と親善ソフトボール大会を行う

1983(昭58)年7月 第4回ミシガン州友好親善使節団42名が来県され、その中の団員2名が甲賀町役場を訪問し、手紙や絵画・写真の交流は既に中学校で始まってもいるので甲賀町とマーシャル市との間で姉妹都市提携を検討頂きたいとマーシャル市の概要資料を置いて帰国された。

1984(昭59)年1月 ブラジル・リオ・グランデ・ド・スール州へ友好親善訪問団を派遣。甲賀町から農業後継者1名を派遣

1984(昭59)年1月 中国湖南省より薬業視察団が来町

1984(昭59)年4月 町長私的諮問機関として「21世紀の甲賀を考える」と題して12名からなる座会が開かれ町内でも、企業進出やビジネスでも国際化の動きが出てきているし、既に、町民の中でも中学生、高校生、大人の方々が県主催のミシガン州親善使節団として参加され、国際交流の必要性を語られた。

1984(昭59)年6月 中国湖南省より薬業視察団が来町

1984(昭59)年6月 第2回「21世紀の甲賀を考える」の座会が開催され、国際交流の必要性から姉妹提携の展望について話題となった。既に県内13市町村が姉妹提携を結んでいること、昨年7月の使節団で来られたマーシャル市側から姉妹提携の打診があったこと、中学生によるマーシャル市との間で交流がはじまっていること、県の担当部局も相手側から提携の申込があるのは異例なことだし地理的にもお付き合いしやすいまちだとの話もあり、これから姉妹都市を考えるなら、マーシャル市が一番身近ではないかと町長に報告することで座が閉じられた。

1984(昭59)年6月 甲賀町内での急速な国際化の波と2回に渡って話し合われた座会での意見を基に、いよいよ昨年打診のあったミシガン州マーシャル市と姉妹都市提携を結ぶことについて甲賀町議会の賛同を取り付けた。甲賀町は直ちにミシガン州マーシャル市との姉妹提携の準備を進めた。

1984(昭59)年8月 第5回滋賀県ミシガン州友好親善使節団234名の団員として甲賀町から中井議長、瀬古助役、他3名の総勢5名を派遣

8月20日マーシャル市に於いて家森町長からのメッセージをマーシャル市長に渡し、甲賀市とマーシャル市の姉妹都市提携の調印式が行われた。



姉妹都市提携調印式

■ 姉妹都市提携とその後の歩み

マーシャル市と甲賀町との姉妹都市締結後も、甲賀町は中国からの薬業、ゴルフ、林業等の視察団の受け入れや研修生の受け入れなどが進み、ライオンズクラブの交流も盛んに行われ、ヨーロッパからの音楽団の受け入れ等々、国際化の波が急速に拡大してきた。

1985(昭60)年4月 「甲賀町国際友好親善協会」を発足
以降は、甲賀町とマーシャル市との姉妹都市締結後の交流の概要

1985(昭60)年8月 第5回ミシガン州友好親善使節団来県(63名)マーシャル市からJアレン・バセジ市長など6名を受入れ

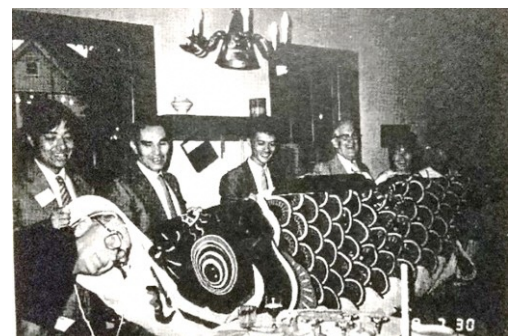
1986(昭61)年9月 第6回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(144名)甲賀町から家森町長はじめ10名を派遣。この時、マーシャルから友好のモニュメントが贈られる。現物は、船便で送られ、年末に甲賀町役場に到着し、年が明けた昭62年2月に庁舎前庭に設置された。

モニュメント(記念板)は縦1.5m横1.9mの分厚い板にマーシャル市のシンボルブルックス噴水塔が描かれ、Historic Marshall City of Hospitality「心温かい人々の街 歴史的な街」と書かれている。なお、このモニュメントは長年の風雨で痛み、甲賀市への合併もあって、設置場所から移動をされてしまったので、甲賀町マーシャル会によって修繕補強し平成26年10月に現在の鹿深夢の森図書館前に蘇り、友好の絆を伝えている!

1987(昭62)年8月 第6回ミシガン州友好親善使節団来県(115名)。マーシャル市から7名を受入れ マーシャル神輿



マーシャル市から贈られたモニュメント



マーシャル市に贈られた鯉のぼり

で夏祭りに参加

1988(昭63)年8月 第7回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(157名)。甲賀町から9名を派遣 町はマーシャル市へ鯉のぼりを贈った。

1989(平成)年8月 第7回ミシガン州友好親善使節団来県(65名)、マーシャル市から4名を受入れ茶道、陶芸、油日神社等を案内

1990(平2)年8月 第8回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(155名)。甲賀町から9名を派遣。甲賀中学校3年生160通余に手紙を使節団が預かりマ市内の校長先生に手渡し、その後、返信が多く届いた。

1991(平3)年8月 第8回ミシガン州友好親善使節団来県(36名)、マーシャル市から5名を受入れ

1992(平4)年8月 第9回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(154名)、甲賀町から11名を派遣。マーシャル市役所東側にPeace Park(平和公園)が完成し、使節団がそのオープニングテープカットに列席。「甲賀へ友情を添えて」と刻んだ70cm×54cmの額に納められたブルックス噴水が描かれたステンドグラスが贈られた。

1993(平5)年8月 第9回ミシガン州友好親善使節団来県(95名) マーシャル市から5名を受入れ

1993(平5)年11月 '93姉妹都市交流国際会議が彦根市で開催され、マーシャル市の代表としてワンダ・ギッシュ氏が来県、終了後甲賀町でホームステイし、写真パネルや特産品の展示が行われた。

1994(平6)年8月 第10回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(117名)、甲賀町から11名を派遣。甲賀町からマーシャル市にモニュメントを贈る。

1995(平7)年8月 第10回ミシガン州友好親善使節団来県(51名) マーシャル市から6名を受入れ、この年甲賀町からマーシャル市に提灯を贈る。

1996(平8)年8月 第11回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(101名) 甲賀町から9名を派遣

1997(平9)年8月 第11回ミシガン州友好親善使節団来県(55名) マーシャル市から6名を受入れ

1998(平10)年8月 第12回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(116名)

甲賀町から10名を派遣。この年時点で甲賀町からマーシャル市を訪問した人は74名、マーシャル市から甲賀町を訪問した人は30名となった。

1999(平11)年8月 第12回ミシガン州友好親善使節団来県(29名) マーシャル市から5名を受入れ

8月 中学生海外派遣事業として甲賀中学校3年生8名と団長山下由行氏が派遣され、マーシャル市とノースマスキーガンを訪問し交流を深めた。



平和公園に掲げられた鯉のぼり



モニュメントと使節団、平和公園にて

コラム 1

教育の檜の木(Education Oak)……公教育の発祥地マーシャル市

マーシャル中学校のロビーには教育の檜の木(Education Oak)と呼ばれるブロンズがあり、二人の教育者が檜の木の下で教育の構想を練っている姿を表している。二人は、弁護士アイザック・E・クレイリーとジョン・D・ピアース牧師で、1834年から1835年にかけてミシガン州の公立学校制度を立案。この制度案は1835年に成立し、クレイリーは州憲法制定会議の教育委員会委員長を務めた。翌年、ピアースはアメリカ初の州教育長に任命された。



2000(平12)年8月 第13回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(68名)、甲賀町から8名を派遣。この年で派遣は9回目で、延べ82人となる。

8月 小佐治すいりょう太鼓アメリカ公演、メンバー12名。マーシャル市の高校体育館、大学ホールでの演奏は家族連れで賑わい、加えて餅つき実演を行い大好評。新聞やTVで大きく取り上げられた。

2001(平13)年8月 第13回ミシガン州友好親善使節団来県(59名)マーシャル市から10名を受入れ、訪問団は甲賀夏祭り「ござれ GO-SHU!」を楽しむ。



マーシャルのデマンドタクシー

2002(平14)年8月 第14回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(94名) 甲賀町から9名を派遣。交流会では団員全員が忍者衣装でパフォーマンス大好評を得る。

2003(平15)年8月 第14回ミシガン州友好親善使節団来県(27名) マーシャル市から1名を受入れ

2004(平16)年5月 「甲賀・マーシャル姉妹都市委員会(愛称:マーシャル会)」発足。平成の大合併で甲賀市誕生(2004年10月1日)に向けて合併協議会等で検討が進む中、甲賀町国際友好親善協会も甲賀市1本の協会に進むことになると思われるので、5月の総会時に2甲賀町とマーシャル市が20年間の交流の絆を引き継ぐ組織としてマーシャル会が発足した。

2004(平16)年7月 第15回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(72名)。甲賀町から西田町長はじめ7名を派遣。西田町長は、今年10月に甲賀市がスタートするので、甲賀町時代としては最後の訪問団となるが、今回を含めてマーシャルを訪問した。105名に呼びかけ、姉妹都市委員会通称「マーシャル会」を発足したので甲賀市になってもマーシャルの皆さんと交流を継続することを約束した。

2004(平16)年10月1日 甲賀市が誕生

2005(平17)年7月 第15回ミシガン州友好親善使節団来県(32名)。マーシャル市から11名を受入れ昨年10月甲賀市が誕生して最初の訪問団を受け、マーシャル会が中心となって高間みずべ公園でのバーベキューや流しそうめんなどで交流を深めた。なお、この時点では、旧町時代の姉妹都市提携の区切りをつけて甲賀市としての姉妹都市提携の検討が行われていた。



甲賀中学校吹奏楽部で歓迎

2005(平17)年11月19日 旧町で結ばれていた姉妹都市提携を甲賀市として新たに結びなおす調印式が各市長をお迎えし土山町のホテルで行われた。

2006(平18)年7月 第16回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(53名)、マーシャル市には8名が訪問(旧甲賀町から4名、市内2名、県内2名)

2007(平19)年3月29日~4月8日 クックご夫妻・千鶴代さん来町 マーシャル市での受け入れの中心人物である3名が訪日を計画され、マーシャル会として受け入れ、甲賀町内でのホームステイ及び飛騨高山への旅を楽しんで頂いた。

・7月 第16回ミシガン州友好親善使節団来県(21名)、甲賀市にはマーシャル市から5名、トラバース市3名、デウィット市1名を受入れマーシャル会は5名との交流会を開催した。



千鶴代・クラークさんは、甲賀市の訪問団をいつも暖かく迎えてくれた

2008(平20)年8月 第17回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(46名)、甲賀市からは10名(内旧甲賀町から1名) マーシャル市には6名(内 湖南省市1名)、デウィット市に3名、トラバース市に2名

2009(平 21)年 1 月 マーシャル市のシンボル ブルックス噴水塔修理資金の募金活動に対してマーシャル会として 10 万円の募金を行うことが決定され、1 月 23 日に 1,055ドルの送金を行った。1 月 27 日付けでマーシャル市噴水修理委員会寄付担当より甲賀町マーシャル会に礼状と領収書が届けられた。

2009(平 21)年 10 月 第 17 回ミシガン州友好親善使節団の来県を予定していたが、折しも 5 月半ばより世界的に新型インフルエンザが発生しパニック状態となり、ミシガン州から滋賀県に訪問団の派遣を中止する連絡が入り中止が決定された。

2010(平 22)年 9 月 第 18 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(46 名)。甲賀市からは 9 名(内旧甲賀町から 1 名)、マーシャル市には 3 名、デウィット市に 3 名、トラバース市に 3 名を受入れて頂いた。旧甲賀町から森田久生さんが参加され江州音頭の実力を発揮してこられた。

コラム 2

甲賀町・マーシャル市の間で交わした友情人形

青い目の人形は、1927 年(昭和 2 年)に、アメリカ合衆国から日本に両国間の親善を目的として贈られた人形で、歌でも唄われ、全国各地に色々な話が伝わっている。

旧甲賀町でもマーシャル市との交流で、相互に訪問した時、お土産として日本人形や五月人形(兜)等が贈られ今も市役所に飾られている。

この人形はマーシャル市から返礼のために贈られた答礼人形、謂わば、友情人形であり、人形使節と言うことになる！



2011(平 23)年 11 月 第 17 回ミシガン州友好親善使節団の来県。甲賀市にはマーシャル市から 5 名、デウィット市から 1 名の計 6 名が訪問。マーシャル会主催さよならパーティー約 60 名が集う。

2012(平 24)年 8 月 第 19 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(45 名)。甲賀市からは 6 名(内旧甲賀町から 1 名)、マーシャル市には 4 名 デヴィット市に 2 名が訪問した。

2013(平 25)年 10 月 第 18 回ミシガン州友好親善使節団の来県(26 名)。甲賀市にはマーシャル市から 4 名、トラバース市から 3 名の計 7 名が訪問されたが、滞在が短くマーシャル会主催の集いは開催されなかった。

2014(平 26)年 8 月 第 20 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(48 名)、甲賀市からは 5 名(内旧甲賀町から 1 名)、マーシャル市へのステイは 3 名

2014(平 26)年 10 月 マーシャル市姉妹都市記念モニュメント修復工事完了し鹿深夢の森の図書館前に設置された。修理経費総額 144,120 円(内、市負担分 96,120 円 マーシャル会 48,000 円)。モニュメントの傍の案内版には以下のことが書かれている。



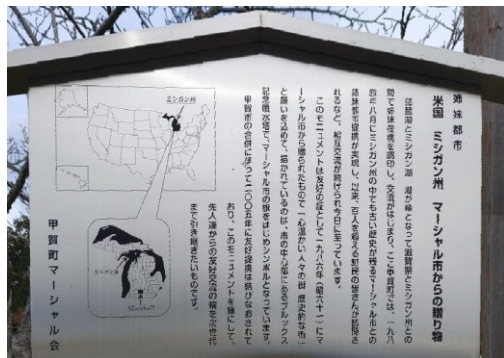
マーシャル市から贈られたモニュメント

姉妹都市

米国 ミシガン州 マーシャル市からの贈り物

琵琶湖とミシガン湖の湖が縁となって滋賀県とミシガン州との間で姉妹提携を調印し、交流がはじまり、ここ甲賀町では、一九八四年八月にミシガン州の中でも古い歴史が残るマーシャル市との姉妹都市提携が実現し、以来、百人を超える町民の皆さんが訪問されるなど、相互交流が続けられ今日に至っています。

このモニュメントは友好の証として、千九八六年にマーシャル市から贈られたもので「心温かい人々の街歴史的な街」と願いを込めて、描かれているのは、市の中心部にあるブルックス記念噴水塔で、マーシャル市の旗をはじめシンボルとなっています。



モニュメントの傍の説明版

甲賀市の合併に伴って
二〇〇五年に友好提携
は結びなおされており、
このモニュメントを縁
にして、先人達からの友
好交流の輪を次世代ま
で引き継ぎたいもので
す。
甲賀町マーシャル会

2015(平 27)年 10 月 第 18 回ミシガン州友好親善使節団の来県(33 名)、甲賀市にはマーシャル市から 4 名、デウィット 2 名、アルビオン 1 名の計 7 名を受入れた。

この訪問団と甲賀市民との歓迎交流会は、甲賀市国際交流協会の主催で里山かむら交流館で行われ、マーシャル会は協賛・協力で加わる。

2016(平 28)年 8 月 第 21 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(53 名)、甲賀市からは 11 名(内旧甲賀町から 0 名)、マーシャル市へのステイは 4 名

2017(平 29)年 8 月 マーシャル市から贈られたモニュメントの案内板を設置

2017(平 29)年 9 月 ミシガン州滋賀県姉妹県州 50 周年記念事業として第 19 回ミシガン州友好親善使節団の来県(26 名)、甲賀市にはマーシャル市のクックご夫妻を含む 4 名が訪問された。なお、マーシャル市と甲賀との関係も 33 周年となった。

甲賀町内では、マーシャル会の協力で歓迎交流会が総勢 23 名で実施された。大久保区で結成された女性音楽グループ「シャベラーズ」が三味線に見立てたスコップ(Shovel: シャベル→シャベラーズ)の演奏で交流は盛り上がり、訪問団も飛び入り参加、和洋折衷の演奏を満喫した。



団員が音楽に合わせてスコップで演奏

2018(平 30)年 6 月 マーシャルのシャーリー・クック氏から平和公園をリニューアルする計画が伝えられ、ついでには、忍者や甲賀市内の写真の提供を求められた。

2018(平 30)年 9 月 ミシガン州滋賀県姉妹県州 50 周年記念事業として第 22 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団を派遣(42 名)、甲賀市からは 3 名(内旧甲賀町 1 名)、マーシャル市へのステイは 1 名、デウィット 2 名

2018(平 30)年 9 月 9 日 マーシャル市 Jack Reed 市長が「姉妹都市プログラム・リニューアルデー」を宣言。
 マーシャルでは友情の証として平和公園を姉妹都市委員会で維持管理に努めてきたが、この度、公園を
 再整備・再生(リニューアル)することになった。

姉妹都市プログラム・リニューアルデー宣言 2018.9.9



姉妹都市プログラムは、34 年前の 1984 年に甲賀町とマーシャル市との市長による協定で始まりました。

この姉妹都市交流がもたらすものは、私たちの人生がより豊かになり、人と人の交流が長く続いていくことです。

姉妹都市委員会は数年にわたり平和公園の維持管理に尽力してきました。そして、公園を大幅にリニューアルすることになりました。

マーシャルコミュニティ財団とマーシャル姉妹都市委員会から多大な助成金をいただき、本プロジェクトを支援していただきました。

平和公園は、世界における平和の大切さを語るシンボルであり、喜びと精神的リニューアルの源となることができます。

私マーシャル市の市長 Jack Reed は、2018 年 9 月 9 日、ここに姉妹都市プログラム リニューアル・デーをマーシャル市にて宣言します。

マーシャル市 市長 Jack Reed

2019(令 元)年 8 月 第 20 回ミシガン州友好親善使節団の来県(31 名)、甲賀市にはマーシャル市 1 名、デ
 ウィット 1 名、トラバース 2 名の計 4 名が訪問された。市での歓迎会は実施されたが、マーシャル市の歓迎
 会等は実施できなかった。

2019(令 元)年 9 月 13 日 マーシャル市の平和公園がリニューアルオープンして式典が行われた。建屋の
 壁には、甲賀市を訪れた人々の印象に残る情景が描かれている。この壁画は、チャールズ・クック氏が姉妹
 都市プログラムに貢献したことを讃えて作られた。



平和公園リニューアルオープン、
 中央は壁画家 Kimber Thompson さん



マーシャル市・甲賀市の強い
 絆を感じさせるロゴ、いろい
 ろな所で使われている



クックさんご夫妻

2020(令 2)年 4 月 8 日 この年 8 月に予定されていた第 23 回滋賀県ミシガン州友好親善使節団は新型コ
 ロナウイルス感染拡大を受け、相互で協議の結果、派遣の中止が決定

2020(令 2)年 9 月 2 日 ミシガン各都市と甲賀市との交流事業は新型コロナ感染拡大のためすべての行事
 が出来ない状況下にあるため、滋賀県からの呼びかけで、ミシガンへのビデオ便りを送ろうと、関係者が集
 まって撮影を行った。

PEACE PARK (平和公園)

平和公園は1992年にマーシャル市中心街のW.ミシガン通りに作られました。2011年にはボーイスカウト・プロジェクトの一環として Mihai Radulescu 氏により再建されました。彼は、マーシャル・甲賀中学生交流の参加者で、両親は数年前に友好親善使節として甲賀市を訪問しています。



ボランティアで管理されている平和公園



3. デウィット市 (City of DeWitt)

<http://www.dewittmi.org/>

デウィットチャータータウンシップ (DeWitt Charter Township)

<https://www.dewitttownship.org/>

ミシガン州のほぼ中央、デトロイトから西へ車で約2時間、ミシガン州の州都ランシング市の北、車で約20分のところに位置する。デウィット市は人口約4700人、チャータータウンシップは人口約13500人。

チャータータウンシップというのはデウィット市を取り囲むようにある町で、デウィット市と行政区は異なるが、学区は同じでみなデウィット市の学校に通っている。

チャータータウンシップは郊外ということもあり、行政機関やお店などのほかに農場なども多く、裏庭で乗馬をしたり、冬には裏庭でそり遊びをするなど考えられない規模の家も多くある。



家の裏庭で乗馬

デウィット市のダウンタウンには、レストランやスイーツのショップなどかわいらしいお店が並び、また、大きなスーパーマーケットもある。ランシングに勤務する人や、ミシガン州立大学に近いこともあり、大学関係者などの住宅も多く、新しい住宅もたくさん建っている。





デウィット市のダウンタウン

デウィット市には小学校が3校あり、Schavey Road (シェビーロード) 小学校はキンダー (幼稚園) と1年生、Scott (スコット) 小学校は2年生と3年生、Harbison (ハービソン) 小学校は4年生と5年生が在学している。

日本の中学校にあたる DeWitt Middle School (デウィット中学校) は6、7、8年生。日本で言う小学校6年生から中学2年までが在学。



デウィット中学校

そして DeWitt High School (デウィット高校) には9、10、11、12年生、日本では中学3年生から高校3年生までとなる。デウィット中学校、デウィット高校どちらにも選択授業として「日本語クラス」があり、日本語や日本文化を学ぶことができる。なお高校は義務教育で特に入学試験などはない。

▪ 提携までの経緯

甲南町の吉川長夫基金を利用したアメリカへの中学生派遣、および国際友好都市調査団が1991年(H3)10月2日から11日にかけて渡米。一行は木村泰治甲南町長、西垣広善教育長、奥山欽一甲南中学校校長をはじめ、通訳引率を含めて調査団10名、中学2年生12名の総勢22名。ニューヨーク、サンフランシスコ等のほか、滋賀県と姉妹県州であるミシガン州を訪問。甲南町の友好都市調査として、Lathrup (レイスラップ) 市とデウィット市を訪問し親善を深めた。

翌1992年(H4)も10月2日から11日に、調査団8名と中学生18名、総勢26名が渡米。調査団はレイスラップ市を訪問したが、中学生を受け入れてくれたのはデウィット市のデウィット中学校であった。デウィット中学校には滋賀県での研修経験のある Lawrence・Arbanas (ローレンス・アルバナス) 先生がおられ、おそらく彼の尽力により受け入れてもらったものと思われる。

その際にレイスラップ市、デウィット市とどのような話し合いが行われたかは不明であるが、翌1993年(H5)5月、甲南町制50周年の記念式典にはデウィット市から市長夫妻が来町している。

そして同年も10月4日～11日に、調査団11名と中学生17名、総勢28名が渡米。ミシガン州を中心とし、中学生はデウィット市で3日間のホームステイを体験した。こうして甲南町とデウィット市の絆は深まっていった。

なお、調査団や中学生の訪米に付き添い、通訳や相手側との交渉などに尽力したのは、当時の甲南町 CIR (国際交流員) の Robert・Cheatham (ロバート・チータム) 氏である。

■ 姉妹都市提携

デウィット市と旧甲南町は、1994年4月28日に姉妹都市提携を結んだ。当時のデウィット市、Gerald・Nester(ジェラルド・ネスター)市長と、同年4月に町長に就任した山本悟甲南町長との間で、甲南町において姉妹都市締結の調印式が行われた。

調印式には、デウィット市からジェラルド・ネスター市長、Erik・Olson(エリックオルソン)市議会議員夫妻、シンボア行政長官の4名の関係者が来日。

調印式後には矢川祭りに参加するなど、甲南町の魅力を十分に満喫して帰国された。こうして甲南町は、甲賀郡としては土山町、甲賀町に続き、3つめの姉妹都市を持つ町になった。

かたつむり



▲ 矢川まつり

5月号
-May, 1994-
No.456

新緑に萌える五月。大空のキャンパスに薫風の姿を描く燈のほり。田んぼにでていそじ人。野にて山菜を摘む親子。農作を願ひ、稲穂と文化が織りなすまちのドラマ。まちの鼓動。国際人。英語をうまく話すことや外国の地名を知ることも大切なことだろう。でも、日本やまちの歴史をちゃんと知っていて、文化のよさを相手にさちつと説明できることが大事だろう。そして同時に、相手の歴史や文化を知って、それをはつきり尊敬できる人になること。それは、もっと大事なことだろう。自分のことを知り、相手のことも知り、尊敬しあえる関係。いかなる時も大切にしたい。

旧甲南町広報誌「かたつむり」1994年5月号

わが町で楽しく国際交流を!!

甲南町国際交流協会設立総会

七月九日(日)、町公民館において甲南町国際交流協会設立総会が開催され、たくさんの方が参加されました。

設立総会では、甲南町国際交流協会長に鶴飼隆司さんが選ばれました。

記念行事では、寺庄在住の藤川恭子さん、第一小学校長九條孝義先生、甲南町国際交流員ポール・レゲットさんの海外や日本で経験され学ばれた貴重な体験談の発表がありました。普段、テレビや本で見聞きすることはあっても、

実際に体験された講演者を目の前にするのはめずらしく、視聴者の皆さんは熱心に聞いておられました。

その後、アトラクションでは、甲南太鼓をはじめ、歌やゲームがあり、歌の時は、ミシガン州から来た高校生アーロン君が特別ゲストで参加されるなど、小さいお子さんからお年寄りまで一緒に楽しんでおられました。

また、七月十六日(日)には、

ミシガン滋賀県高校生海外相互交流事業で甲南町にホームステイされた三人の方々と交えて、学生会員だけで交流会を開催し、楽しいときを過ごしました。

協会では、これからもハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなど、楽しい企画を計画して皆さんのご参加お待ちしております。

また、会員を募集しておりますので、興味のある方はご連絡ください。

お問い合わせは
甲南町国際交流協会事務局
☎八六一四一六一
(総務課) まで



▲歌「リズムであいさつ」より

姉妹都市締結に合わせ、甲南町国際交流協会設立準備委員会が立ち上がり、理事の選考や規約作成など、1年間の様々な準備を経て、1995年7月5日、甲南町国際交流協会の設立総会が開かれた。協会の事務局は役場総務課におき、ボランティアで集まった理事がいろいろな事業を企画運営していった。

なお、2005年、合併のため甲賀市と再締結の調印が行われ、それを機にデウィットチャータータウンシップも加わった。

■ 甲南町とデウィット市の交流

市民交流は滋賀県主催の「友好親善使節団」に参加。町民がデウィット市を訪問したり、デウィット市からの団員を受け入れたりしていた。甲南町では、ホストファミリーにも、忍術屋敷など甲南町の魅力を紹介し、茶道体験や華道体験など日本文化も学んでいただいた。また甲南町国際交流協会主催で、ウエルカムパーティーやフェアウェルパーティーなども行っていた。

1999年、当時の総務課担当者とデウィット中学校のアルバナス先生の尽力により、甲南中学校とデウィット中学校の短期交換留学が始まる。

第1回目は1999年1月に甲南中学校の生徒10名がデウィットを訪問。その年の5月にデウィット中学校の生徒が来日した。その後、毎年1月に甲南中の生徒10名がデウィットを訪問。ホストチューデントの家にホームステイをしてデウィット中学校へ通い、授業を受けたり様々な体験活動をした。たりした。

州議事堂やポリスステーションの見学をしたり、ピザパーティーで楽しく過ごしたり、甲南中の生徒が、デウィット中の生徒に剣道を教えるという体験もあった(デウィットの生徒にとってはチャンバラ?)

なお訪問の際には、甲南中学校の先生、役場職員、国際交流員(通訳)の3名が引率として同行した。



▲調印のあと、がっちり握手を交わすジュラルド・ネスター市長と山本町長

甲南町・デウィット市 姉妹都市提携に調印

広がれ友好の輪

四月二十八日、甲南町とアメリカ、ミシガン州、デウィット市との姉妹都市提携の調印式が行われた。デウィット市とは平成三年の吉川長天教育福祉振興会事業の中学生派遣から交流が始まりました。以来毎年、甲南中の生徒のホームステイなどが続けられているほか、昨年の町制施行五十周年記念祭には市長を招待し、また、友好親善訪問も派遣してきました。当日はデウィット市から四人

の代表を招き、約六十人の関係者が見守る中、両市町長が協定書にサイン。ここに甲南町として海外初の姉妹都市が誕生しました。今後は青少年の交流を中心として、草の根レベルの交流にまで発展させるとともに、日米両国の平和にも貢献したいという考え。

また、式典のあとのレセプションでは、甲南中アラスパンド、甲南太鼓、大正琴の演奏が行われ、新しい友好の出発をお祝いしました。



旧甲南町広報誌「かたつむり」1995年8月号



甲南町の中学生 ミシガン州議事堂見学

そしてその年の5月にはホストをしてくれたデウィット中の生徒が甲南町に来訪。ホストブラザー、ホストシスターと再会し、同じように甲南中学校へ通い体験活動も行った。甲南中学校での授業では引率のアルバナス先生も教室で見学された。忍術屋敷の見学や、浴衣を着ての茶道体験などおおいに日本文化を学んでいただいた。

この中学生交流は合併後、甲賀市全域に広がり、いまでもデウィット中学校へは毎年10名の甲賀市内の中学生が訪問し、受け入れをしている。

デウィット中学校の担当は、2009年から、アルバナス先生から Micah Cousins (マイカ・カズンズ) 先生に代わった。



デウィット中学生 忍術屋敷見学

■ 合併後の交流

合併後も甲南町民は県の友好親善使節団に参加し、多くはデウィット市でのホームステイを経験している。

中学生交流は先に述べたように、甲南中だけでなく甲賀市内すべての中学校に広がり、甲賀市の各中学校から毎年10名の生徒がデウィットでホームステイをし、受け入れを行っている。

甲賀市の中学生がデウィットを訪問するのは1月なので、雪が多く寒さは厳しいが、タイヤ滑りなど楽しい体験も多い。



デウィット中学校での授業風景

アイススケートをしたり、ダンスパーティーを楽しんだり、様々な経験をすることができる。もちろん、デウィット中学校で授業も受ける。

デウィットでの歓迎ぶりはすごくて、本当に有り難い。デウィット中学生は、歓迎の横断幕を持ち、マイナス10度ほどの気温の中、甲賀市の中学生の到着を外で待ち続けてくれる。



デウィット中学生が横断幕を持って出迎え

中学校の正門に続くコーナーにもうけられた電光掲示板は、普段は学校の行事などを知らせているが、甲賀市の中学生が滞在している間は、[日本の交換留学生][1月8日から15日]と表示される。また道路をまたぐ大きな横断幕も掲げられる。



デウィット中学校の電光掲示板



道路に掲げられた横断幕

横断幕には、英語だけでなく、日本語で「ようこそ、にほんのともよ」と書かれている。



またホストファミリーの家やダウンタウンのいろいろなお店には歓迎のポスターがはってある。カラー印刷のポスターをラミネートして丈夫に作ったものだが、このポスターをもらって帰ってきた人も結構いると思う。このような歓迎を受けるのは、もちろん中学生のときだけではなく、友好親善使節団で訪問した市民も同じである。デュワット市ではデュワット甲賀のマークを入れた T シャツやバッグなどを作り、お土産として渡してくれる。

各家庭やお店に貼ってある「歓迎」のポスター

デュワット中学校の図書室には甲南町からのお土産が常にみんなの目に触れられるよう並べられている。また以前訪問した中学生が書いた書道なども飾ってある。また図書室の一角には日本紹介の図書のコーナーがあり、「からて」とか「おりがみ」など日本文化を紹介する英語の本が並んでいる。



図書室にある甲南町からのお土産コーナー



甲南中とデュワット中の相互訪問に対して大変力を尽くしてくださったのはデュワット中学校教師のローレンス・アルバナス先生である。彼のおかげで中学生交流が始まり、そしてずっと継続することができている。



記念植樹の前に立つアルバナス先生



日本文化を紹介する
図書のコーナー

デュワット中学校の校舎前にはアルバナス先生の功績を称え、植樹した木の根元にプレートが埋め込まれている。

そこには「ローレンス・アルバナス先生のデュワット市と甲賀市の中学生国際交流事業への献身に感謝して」と刻まれている。

アルバナス先生の甲賀への思いは強く、彼の車のナンバーは「SIHGA12」。ミシガン州では自分の好きなアルファベットをナンバーに使用できる制度がある。また、「あい♡滋賀」のシールも貼ってある。



アルバナス先生の功績を讃える
プレート

■ デュワットクラブの設立

2007年、中学生交流でデュワットへ行った甲南中学校の生徒が発起人となって、「DeWitt Club (デュワットクラブ)」という団体が設立された。会長は中学生が務め、甲南町国際交流協会設立から関わってきた役員 3 人が事務局を担当して事業を行っている。初代会長、2代目会長とも、中学生交流でデュワット市へ派遣された甲南

中学校の生徒であり、社会人になっても国際交流への意識は高く、様々な場面で活躍している。



デウィットクラブのパーティー

「デウィットクラブ」はデウィット訪問経験のあるなしに関わらず、興味のある人は誰でも参加できる。毎年中学生の引率で来られる先生を囲んでのパーティーや、楽しい集まり、フェスタへの出展などを行っている。

中学生交流の担当はアルバナス先生からマイカ・カズンズ先生に引き継がれたが、この楽しい交流は変わっていない。

アルバナス先生は最近まで中学生や市民が DeWitt を訪問した際にはずっと付き添い、お世話をしてくださっていた。



岩永市長と使節団の皆さん
(左から2人目がピサーチックさん)

2019年デウィット姉妹都市委員会議長の Dawn・Pysarchic (ドーン・ピサーチック)さんが甲賀市にホームステイされた。彼女は、滋賀県とミシガン州の交流のため、毎年のように滋賀県を訪れているが、この年は初めて市民訪問団の一員として甲賀市にホームステイ。甲賀市をじっくり見ていただいた。1994年から始まったデウィットの交流は今も強い絆で続いている。

いちよん 4. 利川市(이천시)

<https://www.icheon.go.kr/portal/index.do>

利川市は、陶磁芸術家ならびに関連の産業人口が密集している陶磁専門の都市として、陶磁関連の研究員を含んだ陶磁インフラがうまく構築されている。最高の美質を誇る利川米、乳白色で糖度の高い桃、土と火、そして陶芸家の芸術の魂が重なり、千年息づいてきた永遠な生命固有の伝統陶磁器をつくる世界陶芸の中心軸を成した都市でもある。



世界陶磁ビエンナーレおよび利川陶磁器まつりなど内実ある祭りの運営と、専門的な陶磁器を担当する専門担当組織がよく備わっている点などが認められ、2010年7月、大韓民国で初めてクラフト&フォークアート分野のユネスコ創造都市に指定された。



ユネスコ創造都市ネットワークの加入を契機に、利川市は韓国伝統陶磁文化を全世界に知らしめると同時に、世界の多様な都市との文化共有ならびに世界の文化多様性の増進に寄与している。

特に、2018年6月12日、サブネットワーク会議で利川市がクラフト&フォークアート分野の会長都市に選出され、2021年8月まで会長都市を務められた。それは韓国内の創造都市で初めてのことであり、クラフト分野の都

市別主要活動について話し合い、都市間の交流事業に関する事例を共有しながら、創造都市間のネットワーク拡大と独創性の発展のために尽力している町でもある。

- ・人口 約 232 千人
- ・面積 461.3km²(甲賀市の面積は、481.62km²)
- ・行政区域 2 邑 8 面 4 洞
- ・学校 合計 58 校(小学校 31 校、中学校 14 校、高校 11 校、大学 2 校)
- ・市のシンボル 市鳥 カササギ 市花 つつじ
市木 松
- ・海外との姉妹都市は 5 都市



利川市役所

- ①中国 江西省 景德鎮市(提携日 1997 年 7 月 16 日)
- ②日本国 滋賀県甲賀市 (提携日 2005 年 11 月 19 日)
- ③日本国 愛知県瀬戸市 (提携日 2006 年 4 月 20 日)
- ④米国ニューメキシコ州サンタフェ市 (提携日 2013 年 11 月 18 日)
- ⑤フランス オートヴィエンヌリモージュ市 (提携日 2015 年 4 月 22 日)

- ・海外との友好都市は 3 都市

- ①中国 江蘇省無錫市 (提携日 2005 年 9 月 11 日)
- ②米国バージニア州フェアファックスカントリー (提携日 2012 年 7 月 17 日)
- ③米国カリフォルニア州サンタクララ市 (提携日 2019 年 4 月 28 日)
- ④中国 山東省濰坊市(提携日 2022 年 4 月 17 日)

■ 姉妹都市交流の経緯

信楽町観光協会では、昭和 60 年 4 月に「信仰と木彫りの町」で井波彫刻という伝統産業を有し、欄間と瑞泉寺で知られている富山県井波町観光協会(当時)との姉妹協会をきっかけに、外国にも陶器産地を中心とした町との国際交流をめざして町内の知人を通じて韓国との交流先を探して頂くようお願いしていたところ、利川市が陶磁器産地でもあることから候補地に上がり、平成 4 年に信楽町観光協会が利川文化院を表敬訪問されたのをキッカケに毎年交流を続けられ相互理解が深まった。そして、「信楽町観光協会」と「利川文化院」とが国際友好親善提携することを双方が確認して、平成 8 年(1996 年)7 月 25 日に合意、滋賀県立陶芸の森で調印され新たな交流が始まった。陶磁器が交流の媒介となり、利川文化院の方々と信楽町観光協会の方々との交流は、陶磁器や文化を中心としたものから始まり交互交流により展開されていた。



利川陶芸村

陶磁器を中心とした相互交流では、信楽で毎年 7 月(当時)に開催されていた「信楽陶器まつり」期間中にこられ、新宮神社から火への感謝による愛宕山山頂にある陶器神社(往復約 2 キロ)への松明奉納に参加された。当時は、千本(千人)の松明を目標にされていたことから、大変な賑わいの中、利川文化院の方々も積極的に松明奉納に参加された。



利川への訪問も観光協会の方々を中心に利川陶磁器まつりや観光名称・旧跡の見学や行事への参加やホームステイなどを通じて双方の交流が盛んに行われ、身近な友人として親睦も深められてきた。こうした背景から、信楽町観光協会との交流を続けながら、更に大きな輪を広げ発展させるため、平成 11 年(1999 年)10 月 23 日には、(旧)信楽町と利川市との間に姉妹都市提携(盟約書)が結ばれた。

この姉妹都市提携の調印式には、関係者約 100 名が参加のもと、信楽町開発センターで行なわれ、信楽町側から当時の杉森町長や大杉町議会議長、山本信楽町観光協会会長をはじめ、利川市からは柳勝優(ユ・スンウ)市長、李殷九(イ・ウング)利川文化院長など 8 名の使節団のもとで行われた。相互交流が更に大きく図られ、利川市と姉妹提携都市の契りを結んで以来、両市町の産業である「陶磁器」を中心として観光、文化、経済などさまざまな分野での人的交流も深められてきた。

そうした中、信楽町観光協会と利川文化院がとりもつなかで 21 世紀に向けた国際文化工芸都市としてこれまでの友好関係をさらに深め、幅広い交流の輪がますます広がり、利川市と信楽町の活性化と国際交流に大きな成果をもたらしたと思う。

姉妹都市提携盟約書

日本国・信楽町と大韓民国・利川市は恒久的な友好関係を推進するため教育文化産業経済などの交流を通じて理解を一層深め相互の繁栄と幸福をめざしここに姉妹都市の盟約を結ぶ。

この提携を機にさらに日本国と大韓民国の友好関係が強まることを願う。

1999 年 10 月 23 日

日本国・信楽町
信楽町長 杉森 一夫
(立会人)

日本国・信楽町
信楽町議会 大杉 栄之輔

大韓民国・利川市
市長 柳 勝優(ユ・スンウ)

大韓民国
利川市議会 朴 庸善(パク・ヨンソン)

姉妹都市の契りを結んで以来、まちづくりや文化面などさまざまな面で交流が続けられ、平成 12 年(2000 年)7 月 28 日には、利川市から「友情の火種」と題した彫刻家の姜大喆(강대철 GANG DAE CHEOL)氏作の陶磁器モニュメントが贈られ、滋賀県陶芸の森「産業展示館」の玄関前に設置された。

「友情の火種」の裏面には、以下の言葉が書かれている。

この彫刻は、韓国と日本を代表する陶磁器の町 利川市と信楽町の永遠の友情のために、第 48 回信楽陶器まつりを記念して制作した作品です。火は万物を生み出し、陶磁器をつくるためになくはないものであり、上の二つの炎は、利川市と信楽町を表しています。ミレニアムの年にあたり、新しい千年に向けて、ますます両市町が中心都市として発展していくことを祈願し、利川市民が心をこめて贈ります。

2000 年 7 月 28 日

姉妹都市 大韓民国 利川市
(彫刻家 姜大喆 作)



友情の火種のモニュメント

これらのことから、「2001 世界陶磁器エキスポ」利川市で開催されるのを機に開幕に合わせ、信楽町から笹山忠保氏製作の陶製モニュメント「炎(ひ)と和の双塔」が利川市に贈られ、2001年8月9日雪峰公園内に設置された。

「2001 世界陶磁器エキスポ」期間中、日本館には信楽町からも利川市の友好関係として「信楽焼」を出展し、特設ブースには信楽陶芸家グループの作品も展示された。

また、交流エリアには小原小学校児童の陶器作品も展示された。これは、新屯小学校と小原小学校が姉妹校の提携を結んで以来、情報交換のほか、両校の陶磁器作品の交換を続けてきたことから実現したもので、新屯小学校内にも過去に交換した小原小学校児童の作品が展示され、展示館内に設置された200インチという巨大スクリーンからは、信楽の風土と歴史、そしてそこに根ざした信楽焼を紹介する「しがらき物語」が連日上映された。



利川信楽姉妹都市が書かれたカップ

以後においても、平成16年(2004年)10月までの甲賀市施行前までにおいては、隔年交流を続けながらお互い交流を深めてきた。

しかし、甲賀市制への合併協議の中で、4つの町と姉妹提携を結んでいた信楽町はじめ土山町、甲賀町、甲南町ではそれぞれの国際交流事業の姉妹都市関係は一旦白紙に戻し、市制後に調整するという確認がなされ相手国にも伝えられた。

その後、平成16年(2004年)10月1日に合併して甲賀市となり、白紙となって一旦途絶えていた旧町との姉妹提携を結んでいた外国との交流は、平成17年(2005年)11月19日に、再び甲賀市の姉妹都市として提携された。

姉妹都市提携の調印式は関係者ら約80人が土山のホテルに集まり行われ、当時の中嶋甲賀市長と4都市の代表者(アメリカ合衆国ミシガン州のトラバース市はリック・サボ副市長、マーシャル市はデュエーン・コーギル市長、デウィット市はポール・オプソマー市長とリック・ガラルディー氏、利川市はユ・スンウ市長)がそれぞれ臨席された。

これまで旧町で温められてきた相手国市民との交流がしっかりと根付いていることや姉妹都市関係の復活を望む声が高まっていることにより調印に至ったものである。

■ 甲賀市と利川市とのこれまでの主要交流 (2005年～2021年)

《中学生交際交流》

① 2005年度(平成17年度)

受入期間 12月10日～13日(利川市12名 甲賀市12名)

② 2006年度(平成18年度)

派遣期間 6月10日～13日(甲賀市12名 引率2名)

受入期間 12月16日～19日(利川市8名 甲賀市8名)

③ 2007年度(平成19年度)

派遣期間 6月5日～9日(甲賀市12名 利川市12名)

受入期間 12月8日～12月11日(利川市12名 甲賀市12名)



チヨゴリを着て演奏 2005.12

- ④ **2008 年度**(平成 20 年度)
 受入期間 6 月 7 日～11 日 (利川市 9 名 甲賀市 8 名)
 派遣期間 12 月 6 日～10 日 (甲賀市 9 名 利川市 9 名)
- ⑤ **2009 年度**(平成 21 年度)
 派遣期間 6 月 6 日～10 日 (新型インフルエンザのため中止)
 受入期間 10 月 17 日～10 月 21 日 (利川市 11 名 甲賀市 11 名)
- ⑥ **2010 年度**(平成 22 年度)
 受入期間 6 月 5 日～9 日 (利川市 11 名 甲賀市 11 名)
 派遣期間 12 月 18 日～22 日 (北朝鮮砲撃により派遣中止)
- ⑦ **2011 年度**(平成 23 年度) (東日本大震災により受入れ中止)
- ⑧ **2012 年度**(平成 24 年度)
 受入期間 6 月 2 日～6 日 (利川市 8 名 甲賀市 8 名)
 派遣期間 11 月 10 日～14 日 (甲賀市 8 名 利川市 8 名)
- ⑨ **2013 年度**(平成 25 年度) *受入、派遣中止
- ⑩ **2014 年度**(平成 26 年度) *受入、派遣中止
- ⑪ **2015 年度**(平成 27 年度) *受入、派遣中止
- ⑫ **2016 年度**(平成 28 年度)
 派遣期間 10 月 22 日～26 日 (利川市 5 名 甲賀市 5 名)
 受入期間 12 月 10 日～14 日 (利川市 5 名 甲賀市 5 名)
- ⑬ **2017 年度**(平成 29 年度) *受入、派遣中止
- ⑭ **2018 年度**(平成 30 年度) *受入、派遣中止
- ⑮ **2019 年度**(平成 31 年度)
 派遣期間 8 月 28 日～1 日 (令和元年度)
 受入期間 12 月 7 日～11 日 (諸般の事情により中止)
- ⑯ **2020 年度**(令和 2 年度) *受入、派遣中止 (コロナ禍中止)
- ⑰ **2021 年度**(令和 3 年度) *受入、派遣中止 (コロナ禍中止)
 オンライン交流(信楽中学校11名、・利川市・養貞(ヤンジョン)女子中学校 11 名、・大月(テウオル)中
 学校2名

《これまでの中学生交流 派遣、受入関係》

- * 期間中(2005～2021 年度)の中学生交流派遣 ・7 回 ・甲賀市 65 名 ・利川市 65 名
 * 期間中(2005～2021 年度)の中学生交流受入 ・7 回 ・利川市 68 名 ・甲賀市 66 名

《市民交流》

- ① **2005 年度**(平成 17 年度) *利川市との姉妹都市提携記念
 「甲賀市民訪問団」派遣 17 名
- ② **2006 年度**(平成 18 年度) *韓国・利川市姉妹都市提携記念
 市民交流使節団派遣 団員 20 名
 利川市民訪問団・青年陶芸家 3 名受入



- ③ 2007年度(平成19年度) *甲賀市民訪問団派遣 12名
- ④ 2009年度(平成21年度) *交流調査訪問団派遣 3名
- ⑤ 2010年度(平成22年度) *利川市民訪問団受入 27名(利川交流記念品展)
- ⑥ 2011年度(平成23年度)
*甲賀市民訪問団派遣 12名
- ⑦ 2012年度(平成24年度)
*利川市民訪問団受入 6名
- ⑧ 2013年度(平成25年度)
*甲賀市民訪問団派遣 16名
(第27回利川陶磁器まつり:ブース出展、朝宮茶試飲)
- ⑨ 2014年度(平成26年度)
*利川市民訪問団受入 28名
- ⑩ 2015年度(平成27年度) *甲賀市民訪問団派遣 (延期)
- ⑪ 2016年度(平成28年度) *甲賀市民訪問団派遣 10名(サンシュユ祭 見学)
- ⑫ 2017年度(平成29年度) *利川文化院市民交流訪問団受入 19名
- ⑬ 2018年度(平成30年度) *甲賀市民訪問団派遣 13名
- ⑭ 2019年度(平成31年)(令和元年度)
*利川市民訪問団受入 15名
- ⑮ 2020年度(令和2年度) *甲賀市民訪問団派遣予定
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)
- ⑯ 2021年度(令和3年度) *甲賀市民訪問団派遣予定
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)



甲賀市民訪問団 2011年9月



雪峯公園で利川米文化祭り 2018年10月

《これまでの市民交流、派遣、受入関係》

- *期間中(2005~2020年度) 甲賀市からの訪問団派遣 ・7回 ・甲賀市83名
- *期間中(2005~2020年度) 利川市からの訪問団受入 ・6回 ・利川市98名



京畿陶磁美術館

Ⅲ 甲賀市姉妹都市提携とその後の歩み

■ 中学生国際交流事業

(トラバースシティ市／マーシャル市／デウィット市／利川市)

旧町から行われているこの事業は、甲賀市独自のプログラムである。事業目的は「次代を担う中学生が、外国の生徒と交流し、外国の文化を体験することで広い視野をもった国際感覚を身に付け、相互の異文化理解を深めることで、多文化理解の地域づくりに貢献できるリーダーを担える能力を養う」である。派遣と受入がセットになった事業であり、参加できる生徒数は限られている。なので、事業を実施するまでに選考会がある。選ばれた生徒は、派遣・受入までに事前研修を各 4 回～5 回受け、この交流の意義やホームステイ、ホストファミリーをするにあたって、各姉妹都市について語学等を学ぶ。

また、派遣の場合は、フェアウェルパーティーで出し物をするのもこの事業恒例となっている。毎回、参加生徒が自ら考え、練習して、ホストファミリーや関係者の前で披露する。歌、ダンス、ソーラン節など、その時に流行った日本の音楽やダンスを披露している。



現地の学校で、日本の文化を紹介

この交流事業は、参加する生徒同士、甲賀市と各姉妹都市がペアとなる。派遣時はペアになった相手の生徒宅にホームステイをし、受入時は相手の生徒を自分の家庭で家族同様に生活するのが事業の大きなポイントである。もちろん、学校も一緒に登校し、授業に参加する。受入時には学校全体で生徒を迎えられるので、この事業に参加できなかった生徒も双方、交流できる機会もある。

■ 市民交流事業

(トラバースシティ市／マーシャル市／デウィット市)

県主催の事業である。派遣と受入が隔年で行われている。派遣は約 10 日間の日程の内、3 泊 4 日(年によって異なるが)を姉妹都市先でホームステイする。甲賀市は旧町の時代から交流事業が盛んに行われていたため、年によっては、甲賀市以外の市民の方も甲賀市の姉妹都市にホームステイされることもある。

派遣前には、甲賀市国際交流協会独自で甲賀市の姉妹都市に派遣される方対象に説明会を毎回実施。帰国後には、各訪問先の様子を広く市民の方に知っていただければと報告交流会も実施。



日本の文化 毛筆の体験

受入時は約 10 日間の日程の内、4 泊 5 日(年によって異なるが)甲賀市に滞在される。派遣と同様、甲賀市の姉妹都市以外の方も来られる年がある。

滞在中は甲賀市国際交流協会よりホストファミリーを募集し、土日はホストファミリーデー、平日は甲賀市内を案内する。ホストファミリーの方対象にも事前研修会、帰国後には、報告会を毎回実施。甲賀市滞在中には、広く市民の方に交流していただければと歓迎会や交流会も実施。

■ 市民交流事業(利川市)

利川文化院と甲賀市国際交流協会独自の交流事業である。事業目的は、「広く両市民に互いの歴史、文化、生活等に触れる機会を提供し、国際的視野を広めながら両市の交流が更に発展し、甲賀市の国際化に貢献すること。」である。派遣と受入を隔年で実施。

派遣時は3泊4日(年によって異なるが)、全日程利川市に滞在する年もあれば、1泊は他市に滞在し韓国の文化に触れる交流を目的とする年もある。派遣前には事前説明会やハングル講座を、帰国後には報告交流会を実施。また、過去には利川市で行われる「京畿道世界陶磁ビエンナーレ」や「利川米文化祭り」にブース出展した事もある。

利川市滞在中は、希望者にはホームステイ体験を、利川市内を文化院の方々が案内して下さり、歓迎会では毎回盛大におもてなしをいただいている。

受入時は、1泊2日か2泊3日で甲賀市を滞在される。ホテル滞在の方もおられれば、ホームステイを希望される方もおられる。サムルノリの演奏を披露していただいたり、利川市名物を市民の皆様に振るまっていたりした年もある。甲賀市滞在中は、市内を案内したり、歓迎会、交流会をしたりした。



サムルノリ披露

交流事業詳細

2005年

6月 利川市世界陶磁ビエンナーレ視察研修(8日～10日)

7月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団受入 16名(15日～20日)

※甲賀市としての最初の友好親善使節団受入。合併に伴い一旦途切れた姉妹都市関係の再提携を市長が表明。

10月 ミシガン州 トラバースシティ市、マーシャル市、デウィット市、甲賀市教委・協会三者 3都市訪問(2日～7日)

11月 中学生交流事業マーシャル市中学生受入 生徒8名 引率2名(3日～11日)

19日 甲賀市姉妹都市提携調印式

12月 韓国・利川市夫鉢(ブバル)中学生受入 生徒12名 引率5名(10日～13日)

2006年

2月 トラバースシティ市中学生派遣 甲賀市生徒10名 引率4名(4日～12日)

3月 韓国・利川市姉妹都市提携記念市民交流使節団派遣 20名(20日～23日)
利川文化院との協議、新屯(シンドン)小学校訪問。



※ 姉妹都市提携を調印されたことを記念し、甲賀市全体の国際交流事業として広く市民にその機会を提供し、今後姉妹都市をはじめ韓国の歴史や文化に触れ国際的な視野を広めさらに交流が発展することを目的に派遣。

6月 利川市中学生派遣 甲賀市生徒 11名 引率 2名(10日～13日)

7月 第16回滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣 (21日～29日) 甲賀市 11名(土山町 4名、甲賀町 4名、甲南町 1名、水口町 2名)

※甲賀市になって第1回目の使節団派遣。甲賀市の姉妹都市であるトラバースシティ市、マーシャル市、デウィット市・デウィットチャータータウンシップに団員がわかれて、5日間のホームステイを体験。

10月 韓国利川市民訪問団・青年陶芸家 来市。20名(内青年陶芸家 3名)(7日～16日市民訪問団は9日まで)、陶芸家 3名は10日間ホームステイ。信楽焼についての研修など。



青年陶芸家



※甲賀市になって甲賀市国際交流協会が初めての受入。信楽観光協会、市の担当者の方にも協力いただく。

・マーシャル市中学生派遣 甲賀市生徒 8名 引率 3名 (21日～29日)

11月 トラバースシティ市中学生受入 生徒 19名 引率 5名(3日～10日)

12月 韓国・利川市中学生受入 夫鉢(ブバル)中学生 8名 引率 5名(16日～19日)



2007年

1月 デウィット市中学生派遣 甲賀市生徒 10名 引率 3名(12日～20日)

5月 デウィット市中学生受入 生徒 10名 引率 3名(4日～11日)

・韓国利川市へ市民交流使節団派遣 13名(14日～17日)「京畿道世界陶磁ビエンナーレ」見学 5名はホームステイ

6月 利川市 中学生派遣 甲賀市生徒 12名 引率 2名(5日～9日)

7月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団受入 9名(26日～31日) 国際交流サロンの実施。

9月 トラバースシティ市中学生派遣 甲賀市生徒 10名 引率 4名(12日～21日)

11月 マーシャル市中学生受入 生徒 8名 引率 2名(2日～9日)

12月 韓国利川市 中学生受入 生徒 12名 引率 4名(15日～19日)

2008年

1月 デウィット市中学生派遣 甲賀市生徒 10名 引率 3名(11日～19日)

5月 デウィット市中学生受入 生徒 10名 引率 3名(3日～10日)

※ デウィット市との交流が10回目となり、記念としてデウィット中学校教諭(ローレンス・アルバナス)より市長に感謝状が手渡される。

6月 韓国利川市 中学生派遣 生徒 9名 引率 2名(7日～11日)

8月 利川市長 甲賀市訪問(1日～3日) 土山の茶園、忍術屋敷、陶芸の森、酒造会社など市内各地域の産業や施設を視察。大相撲ふれあい合宿で力士との交流も。

滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣(19日～27日)12名、甲賀市から10名、他市町から2名(トラバースシティ市へ3名、マーシャル市へ6名、デウィット市へ3名)

・姉妹県州 40 周年記念 各市で歓迎会。市長メッセージと協会長メッセージの交換。

10 月 マーシャル市中学生派遣 甲賀市生徒 7 名 引率 3 名 (25 日～11 月 2 日)

12 月 韓国 利川市中学生受入 生徒 9 名 引率 3 名 (6 日～10 日) 夫鉢(ブバル)中学校より来市。

2009 年

1 月 デウイット市中学生派遣 甲賀市生徒 14 名 引率 3 名 (9 日～17 日)

5 月 デウイット市中学生受入 新型インフルエンザにより中止 (5/8～15 の受入)

10 月 韓国・利川市 中学生受入 生徒 11 名 引率 3 名 (17 日～23 日)

12 月 トラバースシティ市より マイケルご夫妻 来市

※マイケル ベイリー氏:かつて姉妹都市交流委員会会長を務められ、1970 年当時の土山町と姉妹都市提携を結ぶ時から、又、甲賀市制発足後も姉妹都市交流委員会の代表として国際交流に尽力された。

・利川市交流調査訪問団派遣 協会役員 3 名 (17 日～19 日)

・利川市 中学生派遣 甲賀市生徒 11 名 引率 2 名 (19 日～23 日)

2010 年

1 月 トラバースシティ市&デウイット市 中学生派遣 (8 日～16 日) 甲賀市生徒 20 名 引率通訳 6 名

5 月 マーシャル市&デウイット市 中学生受入 (7 日～14 日) 生徒 20 名 引率 4 名

6 月 利川市中学生受入 生徒 11 名 引率通訳 3 名 (5 日～9 日)

・長湖院中学校、孝養中学校、夫鉢中学校より来市。

・利川市農業交流訪問団 来市 16 名 (28 日～29 日) 土山の頓宮茶園、県茶業指導者など視察し、茶の栽培技術を学ばれ、JA や大規模農家を訪問。市より農業状況に説明。市役所訪問、市長より挨拶。

9 月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣 (10 日～17 日)

・甲賀市団員 9 名 (トラバースシティ市、マーシャル市、デウイット市 各 3 名)

10 月 利川市交流展 利川市との交流のあゆみ「さらなる交流をめざして」 10 月 1 日～17 日

利川市との交流をさらに深めるため開催 協力:信楽町観光協会 場所:甲賀市信楽伝統産業会館

これまでの交流記念品約 40 点を展示 来場者 927 名 初日には、利川市の金昌奎(キムチャンギョ)市長が視察

・利川市民訪問団受入 団員 24 名 (9 日～11 日) 利川市交流展を鑑賞

2011 年

1 月 マーシャル市&デウイット市 中学生派遣 (7 日～15 日) 甲賀市生徒 20 名、引率 6 名

7 月 デウイット市 中学生受入 生徒 8 名 引率 2 名

※5 月に来市予定だったが東日本大震災とその後の原発事故の影響で延期。

※被災地への義援金を預かる。

9 月 利川市市民訪問団員派遣 甲賀市 12 名 (21 日～24 日)

11 月 ミシガン州友好親善使節団受入(甲賀市滞在 11 日～16 日)6 名、マーシャル市 5 名、デウイット市 1 名

2012 年

1 月 デウイット市・トラバースシティ市 中学生派遣 (6 日～14 日) デウイット市:甲賀市生徒 8 名、引率 4 名、トラバースシティ市:甲賀市生徒 7 名、引率 4 名

5 月 デウイット市・マーシャル市 中学生受入(11 日～18 日) デウイット市:生徒 8 名、引率 6 名
マーシャル市:生徒 9 名、引率 2 名

6 月 利川市 中学生受入 (2 日～6 日) 生徒 8 名、引率 4 名

トラバースシティ市 中学生受入 (6 月 29 日～7 月 6 日) 生徒 7 名、引率 2 名

- 8月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣(23日～31日)甲賀市6名(マーシャル市4名、デウイット市2名)
- 10月 利川文化院市民訪問団受入(5日～8日)団員6名
- 11月 利川市 甲賀市中学生派遣(10日～14日)生徒8名、引率3名

2013年

- 5月 デウイット市 中学生受入(5日～12日)生徒10名、引率2名
- 10月 利川市市民訪問団 派遣 第27回利川陶磁器祭りブース出展、朝宮茶試飲(4日～7日)甲賀市16名
・ミシガン州友好親善使節団受入(甲賀市滞在18日～23日) 団員7名(トラバースシティ市3名、
マーシャル市2名、バトルクリーク市1名、ユニオン・シティ市1名)

2014年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(10日～18日) 甲賀市生徒20名
(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率6名(各市2名)
- 5月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(4日～11日) 生徒20名(デウイット市10名、
マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率5名(デウイット市2名、マーシャル市1名、トラバース
シティ市2名)
- 8月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣(21日～29日)甲賀
市5名(トラバースシティ市2名、マーシャル市2名、セントジ
ョーンズ市1名) 甲賀市以外5名(マーシャル市2名、デウイ
ット市3名)



利川市民訪問団を 琴で歓迎

- 11月 利川文化院市民訪問団 受入(15日～16日) 団員28名

2015年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(9日～17日)甲賀市生徒20名
(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率6名(各市2名)
- 2月・3月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(2月27日～3月6日) 生徒20名(デ
ウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率7名(デウイット市3名、マーシャル市
2名、トラバースシティ市2名)
- 9月 甲賀市中学生姉妹都市交流事業参加者・大同窓会(23日) 生徒14名 関係者7名
- 10月 ミシガン州友好親善使節団受入(甲賀市滞在15日～20日) 7名(マーシャル市4名、デウイット市2
名、アルビオン市1名)

2016年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(8日～16日)甲賀市生徒20名 (デウイット市
10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率6名(各市2名)
- 2月・3月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(2月26日～3月4日) 生徒21名(デ
ウイット市11名 マーシャル市4名 トラバースシティ市6名) 引率7名(デウイット市3名 マーシャル市
1名 トラバースシティ市3名)
- 4月 利川市市民訪問団 派遣「韓国 利川市・ソウルの旅」(2日～5日)甲賀市10名
- 8月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣(24日～31日)甲賀市11名(マーシャル市5名、デウイット市
4名)
- 9月・10月 利川市公式訪問団員 来市 (9月30日～10月2日) 3名
- 10月 利川市 甲賀市中学生派遣(22日～26日) 生徒5名、引率者3名
- 12月 利川市 中学生受入(10日～14日) 生徒5名、引率者2名

2017年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(6日～14日)生徒20名(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率6名(各市2名)
- 2月・3月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(2月24日～3月3日) 甲賀市生徒20名(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名)引率5名(デウイット市2名、マーシャル市1名、トラバースシティ市2名)
- 4月 利川文化院市民交流訪問団 受入(19日～20日) 19名
・4/20「イチョン cafe」の実施 参加者総勢52名
- 9月 ミシガン州友好親善使節団受入(9日～13日)4名(マーシャル市3名、シボイガン市1名)

2018年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(5日～13日)甲賀市生徒20名(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名) 引率6名(各市2名)
- 2月・3月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(2月23日～3月2日)生徒20名(デウイット市10名、マーシャル市4名、トラバースシティ市6名)引率6名(デウイット市3名、マーシャル市1名、トラバースシティ市2名)
- 9月 滋賀県ミシガン州姉妹県州50周年、友好親善使節団派遣(5日～14日) 甲賀市3名(マーシャル市1名 デウイット市2名) 甲賀市以外3名(マーシャル3名)

※ Charlie Cookさんの計らいで、マーシャル市のトップと「まちづくり」について、話し合う機会を得た。写真、左から Jack Reed 市長、Thomas W. Tarkiewicz 行政局長、Scott Fleming マーシャル地域経済開発連合 CED。*朝のコーヒーミーティングでの話題:マーシャル市も若者が出ていく傾向、対策として、



マーシャル市行政とコーヒーミーティング

IT企業の誘致、若者による歴史建造物の秋のホームツアー企画(観光)、高齢者対策としては、一人暮らしの人への弁当サービス、デマンドバス(Dial a Ride)による Door to door移動サービス、専用バス等。所変われば立地条件、規模、生活様式などが異なるが、少子高齢化は共通の課題。

- 10月 利川市市民交流訪問団派遣「秋の韓国 利川市・ソウルを訪れる旅」
甲賀市団員13名

※ 利川米文化祭り ブース出店

・利川市 甲賀市中学生派遣 ※諸般の理由で中止



利川米文化祭り 餅ブース出店

2019年

- 1月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 派遣(11日～19日) 甲賀市生徒18名 ※19名の予定だったが1名インフルエンザの為欠席(デウイット市9名 マーシャル市4名 トラバースシティ市5名) 引率6名(各市2名)
- 2月・3月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市3都市 受入(2月22日～3月1日) 生徒19名(デウイット市9名 マーシャル市4名 トラバースシティ市6名) 引率5名(デウイット市2名 マーシャル市1名 トラバースシティ市2名)
- 8月 ミシガン州友好親善使節団受入(甲賀市滞在18日～22日) 5名(トラバースシティ市3名、マーシャ

ル市 1 名、デウィット市 1 名)

8・9 月 利川市 中学生国際交流事業 派遣、受入 諸般の事情により中止

10 月 利川文化院市民訪問団 受入(11 日～13 日) ※台風の為延期

12 月 利川文化院市民訪問団 受入(13 日～15 日) 15 名

12/14 市民との歓迎交流会の実施 参加者総勢 85 名

2020 年

1 月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市 3 都市 派遣(10 日～18 日) 生徒 21 名(デウィット市 9 名、マーシャル市 6 名、トラバースシティ市 6 名)引率 7 名(デウィット市 3 名、マーシャル市 2 名、トラバースシティ市 2 名)

2 月・3 月 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市 3 都市 受入(2 月 28 日～3 月 6 日)

※コロナ禍中止

4 月 利川市 市民訪問団派遣 ※コロナ禍中止

8 月 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣 ※コロナ禍中止



9 月 中学生交流事業 ミシガン州 3 都市 2019 年度派遣参加者対象 オンライン交流会



4 姉妹都市オンライン交流会

2021 年 ※新型コロナで中止、オンライン交流会「甲賀市の姉妹都市を知ろう」

2022 年 ※コロナ禍中止中止

2023 年 3 年振りに交流再開

10 月 21 日～10/25 アメリカ・ミシガン州友好親善使節団 7 名が甲賀市へ

11 月 利川文化院市民訪問団 18 名

12 月 2 日～6 日 利川市から甲賀市へ會浦中学生 6 名 引率 2 名 通訳 1 名



ミシガン州友好親善使節団



2 月 26 日 甲賀市中学生 4 人とデウィット市 2 人 オンライン交流 9:10AM-10:30

2024 年

9 月 5 日～12 日 第23回滋賀県・ミシガン州友好親善使節団派遣
デウィット市 2 名、マーシャル市 4 名(内米原市 1 名、長浜市 1 名)、トラバースシティ市 3 名(内多賀町 1 名)。トラバースシティ市では 3 名が植物園で、しだれカツラ(Weeping Katsura)を植樹。

9 月 28 日～10 月 1 日 甲賀市市制施行 20 周年を祝い、利川市より代表団・市民訪問団・公演団 33 名来市。公演団員は、韓国の伝統的な民俗文化である「利川亀遊び」を披露。

29 日には、約 700 名の来場者を迎え、あいこうか市民ホールにて日韓文化交流友好親善公演を実施。

オープニングは甲賀市のすいりょう太鼓による力強いパフォーマンス。韓国利川市の「利川亀遊び保存会」による楽しく躍動的なサムルノリの披露。「利川亀遊び」は京畿道無形文化財にも指定されている。

また、「ユネスコがつなぐサムルノリとケンケト踊りのコラボレーション」と題して、ユネスコ無形文化遺産に



しだれカツラ(Weeping Katsura)の植樹

登録された甲賀市に伝わる「すいりょう太鼓」「風流踊」「瀧樹神社のケンケト踊り」も披露。



サムルノリ



ケンケト踊り

11月8日～16日 中学生国際交流事業 ミシガン州姉妹都市マーシャル市へ生徒5名、引率3名、デウィット市へ生徒9名、引率3名が訪問

11月24日～27日 トラバースシティ市の植物園の常務取締役 Matthew Ross 氏が甲賀市を訪問、市長表敬訪問、多文化共生センター、まる一む等公共施設、里山元気会、くすり学習館、みなくち子どもの森、塩野義製薬薬草園、ササユリの里等を見学、リサーチ。



2025年

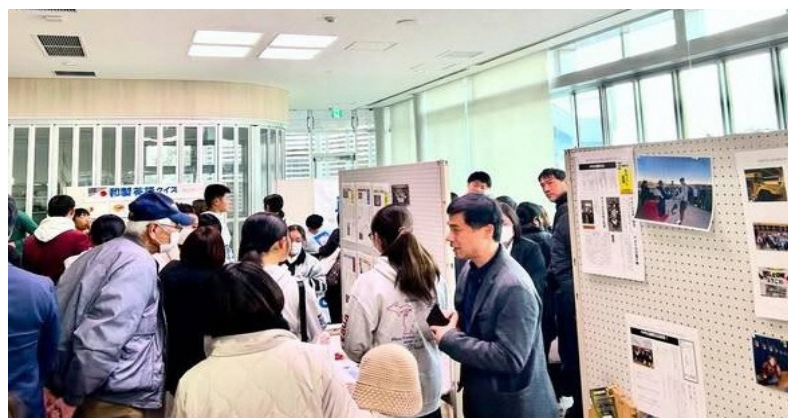
1月24日～30日 中学生国際交流事業 マーシャル市から生徒5名・引率2名が、デウィット市からは生徒10名・引率2名が訪問

2月24日 第23回滋賀県ミシガン州友好親善使節団・甲賀市姉妹都市訪問者・報告交流会(まる一む) 一回の展示ブースでは、4姉妹都市の紹介や中学生の展示報告。JICA、滋賀県国際課の参加、ALTの漫才、クイズなど新しい試みが好評。

～中学生国際交流事業報告会 & 国際交流情報ブース～

日時:2025年2月24日(祝・月)
14:00～16:30
場所:甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」

- 1部 14:00～15:30
 - ・中学生による国際交流事業報告
 - ・ALTによる楽しい雑談
- 2部 15:45～16:00 JICA海外協力隊経験者による体験談
- 16:00～16:15 滋賀県とミシガン州との姉妹都市交流について
- 16:15～16:30 ALT主催「えいごであそぼう」
- 国際交流情報ブース 15:30～16:30
 - 「自由にブースを回って情報を集めよう!」
 - ・独立行政法人国際協力機構「JICA関西」
 - ・滋賀県国際課



甲賀市中学生国際交流、市民交流のブース

この取り組みは、国際交流情報発信のモデルとなり、県内に広がった。



姉妹都市交流の発表会



土山 ALT・水口 ALT による漫才

7月11日～15日 ミシガン州友好親善使節団 8名受入れ(トラバースシティ2名、マーシャル4名、デウイット2名)



かふか夢の森にあるモニュメント

8月29日～9月1日 利川市市民訪問団 14名、甲賀市・利川市姉妹都市文化交流団(小佐治すいりょう太鼓) 6名派遣、日本の文化が凝縮された響きの和太鼓と、躍動的なパフォーマンスのサムルノリとのコラボレーションで観客を魅惑した。
主催・主管:利川文化院・甲賀市国際交流協会
後援:利川市・甲賀市



9月6日～9月10日

中学生国際交流事業

利川市へ生徒 5名派遣
学校生活、伝統衣装のチョゴリの試着、陶芸作品の製作など韓国の文化を学んだ。



11月29日～12月3日 利川市中学生受入れ

歓迎会では、利川の生徒達に「いろんな屋台」や餅つき等の工夫で、「日本の夏祭り」を体験。返し手と息を合わせなければならない餅つきでは緊張の連続。12月2日の送別会では、利川中学生による出し物や甲賀市で体験したことを出し合い、中には流暢な日本語で発表する生徒もいた。



餅つき体験する利川市中学校の生徒

IV 資料

● マーシャル市からいただいたもの

姉妹都市交流で各都市からいただいたものが数多くあり、一部は多文化共生センターに展示されている。本誌では、編集の関係でマーシャル市からいただいたものを写真で紹介する。

1. 噴水が描かれた 屋外モニュメント	192cm×155cm 足の部分 100cm
2. マーシャルの歴史的建造物の刺繍クロス	160cm×135cm
3. 噴水が描かれた 衝立	ステンドガラスの額 54cm×70cm これを脚付きにした物で前高さ120cm
4. シンボル フラグ	90cm×135cm
5. 友好 パッチワーク	マーシャル市の多くのパッチワーク愛好家によって作られた友好の証の品である。
6. 学校教育の樹 額	46cm×61cm
7. 友好提携の額(1)	31cm×46cm
8. 友好提携の額(2)	31cm×43cm
9. 歴史的建造物の額	34cm×29cm
10. 歴史建造物「ホノルルハウス」の額	83cm×70
11. 甲賀町側の友好提携書と写真	写真額 39cm×34cm 提携書 60cm×45cm
12. ホノルルハウスの飾り皿	横 27.5cm×高さ 19cm
13. シンボル噴水の置物	33cm×28.5cm
14. 置物	34cm×30.5cm
15. 噴水が描かれた飾り皿	直径 26cm
16. 噴水が描かれたメダル	メタル直径 7.5cm
17. 金属ポット鍵	一番大きなポット (左)高さ16cm 底径12cm 鍵 長さ18cm
18. シンボル花瓶	一番大きなパイナップル花瓶 高さ25cm 幅14cm
19. 亀	15cm ×7cm
20. 民族楽器	ケース 101cm×21cm
21. 友情人形	高さ33cm 幅20cm

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



旧マーシャル市街 チャーリー・B.クック&エリック・C.クック著

V 甲賀ブランド

マーシャル・甲賀抹茶アイスクリーム

マーシャルの手作りアイスクリーム店“True North”は、2024年、甲賀町との姉妹都市提携40周年を記念して、甲賀市から取り寄せた抹茶アイスクリームを製造。甲賀への熱い想いが伝わる。



参考資料

旧町 広報誌

在サンフランシスコ日本国総領事館 ホームページ

滋賀県ホームページ

韓国観光公社公式サイト「VISITKOREA」利川文化院

編集後記

2021年コロナ禍で交流が中止になった時、甲賀市の姉妹都市交流を続けたい思いでオンライン交流会を試みました。新たな交流手段として好評だったものの、限られた参加人数での交流に留まるのはもったいない、交流の歴史が時の流れに埋もれてしまう、もっと多くの市民に交流のことを知ってもらいたいという声が集まり、これまでの交流の記録を冊子に残すことになりました。

本冊子の作成に際しては、旧町から長く姉妹都市交流に携わってきた人々が編集委員となって、埋もれた資料や個人の記録を元に編集してきました。編集者の交流に関する考え方は極力入れずに、**交流の歴史資料として編集**しました。その際、一定のレイアウトの統一はしましたが、文書スタイルや内容は各旧町の担当者の独自性を尊重しました。そのため、各担当者による姉妹都市提携後の記述を事務局による「Ⅲ 甲賀市姉妹都市提携とその後の歩み」に敢えてまとめませんでしたので、両者重なる記述があります。また、資料のすり合わせに十分な時間が取れなかったため、誤植があるかもしれませんが、ご容赦ください。

近年、姉妹都市交流は主に代表団又は市民訪問団の交流に留まる傾向があります。本誌編集時、細かく書かれた資料に大切な情報が埋もれていることに気付きました。姉妹都市以外の中国やドイツ国を含め海外諸国と、文化交流、農業視察、陶芸家交流、手紙や絵画による交流、個人の交流など多岐にわたる民間交流が行われてきたことです。また、それらを信楽町観光協会、各町の国際交流協会、国際友好親善協会、甲賀市国際交流協会、土山国際交流クラブ、デウィットクラブ、マーシャル会など民間団体が支え牽引してきたことは、一筆に値すると思います。本誌が、今後の姉妹都市交流、国際交流の指針の参考になれば幸いです。

甲賀市の姉妹都市 交流の歴史を紐解く

2026年1月 発行

発行者

一般社団法人 甲賀市国際交流協会 Koka International Society

〒528-0023 甲賀市水口町本丸1番20号 みなくるプラザ内 甲賀市多文化共生センター

TEL: 0748-63-8728 FAX: 0748-70-6468 Email: mifa@mx.biwa.ne.jp

編集委員

植西禮之輔 大谷五十二 加藤慎一 高田信男 中島教芳

藤村 稔 水谷敦子 藤川真依